

VERITAS™

Veritas Backup Exec 22 最新リリース情報

ベリタステクノロジーズ合同会社

Agenda

- Backup Exec 22の新機能
- Backup Exec 22シンプルライセンス
- M365の保護（画面例）
 - Exchange Onlineのバックアップとリストア
 - OneDriveのバックアップとリストア
- まとめ
- 補足情報

Veritas Backup Exec 22 新機能のご紹介

Veritas Backup Exec 22 Backup Exec 22の新機能



シンプルライセンス

BEシンプルのサブスクリプションライセンスプログラムは、わかりやすく、簡単に拡張もできて、M365の保護も含むすべての製品機能が含まれています。

効率的なライセンス拡張



成長する環境に対してさらなる保護が必要な場合、お客様はインスタンスライセンスを追加購入するだけでよいです。

製品の全機能を利用可能



この新しいライセンスモデルには、すべての機能、エージェントテクノロジー、拡張オプションなど、Backup Execのすべてのテクノロジーが完全に含まれています。

サブスクリプションライセンス



既存のお客様のニーズを引き続きサポートするため、Backup Execは、こちらの新しいライセンスシステムも含め、今後も永久ライセンスモデルまたはサブスクリプションライセンスモデルを提供し続ける予定です。

Veritas Backup Exec 22

Backup Exec 22の新機能



M365保護の統合

M365 ExchangeとOneDriveのデータの保護とリカバリがBackup Execに完全に統合されました!



M365 Exchange

- ✓ M365 Exchangeデータを保護
- ✓ Backup Execに完全に統合
- ✓ 追加製品不要



M365 OneDrive

- ✓ M365 OneDriveデータを保護
- ✓ Backup Execに完全に統合
- ✓ 追加製品不要

Veritas Backup Exec 22 Backup Exec 22の新機能



統合されたM365の保護

M365 ExchangeとOneDriveのデータ保護とリカバリがBackup Execに完全に統合されました!

Exchangeの保護とリカバリ



使い慣れたBackup Execのインターフェースから直接M365のExchangeデータを簡単に保護・復旧できます。

OneDriveの保護とリカバリ



使い慣れたBackup Execインターフェースから直接、M365のOneDriveデータを簡単に保護・復旧することができます。

完全な統合



M365のサポートをBackup Execに直接統合することで、シンプルで簡単なユーザー体験を維持し、ボルトオン製品の管理による追加コストを回避することができます。



TeamsとSharePointも近日対応予定!

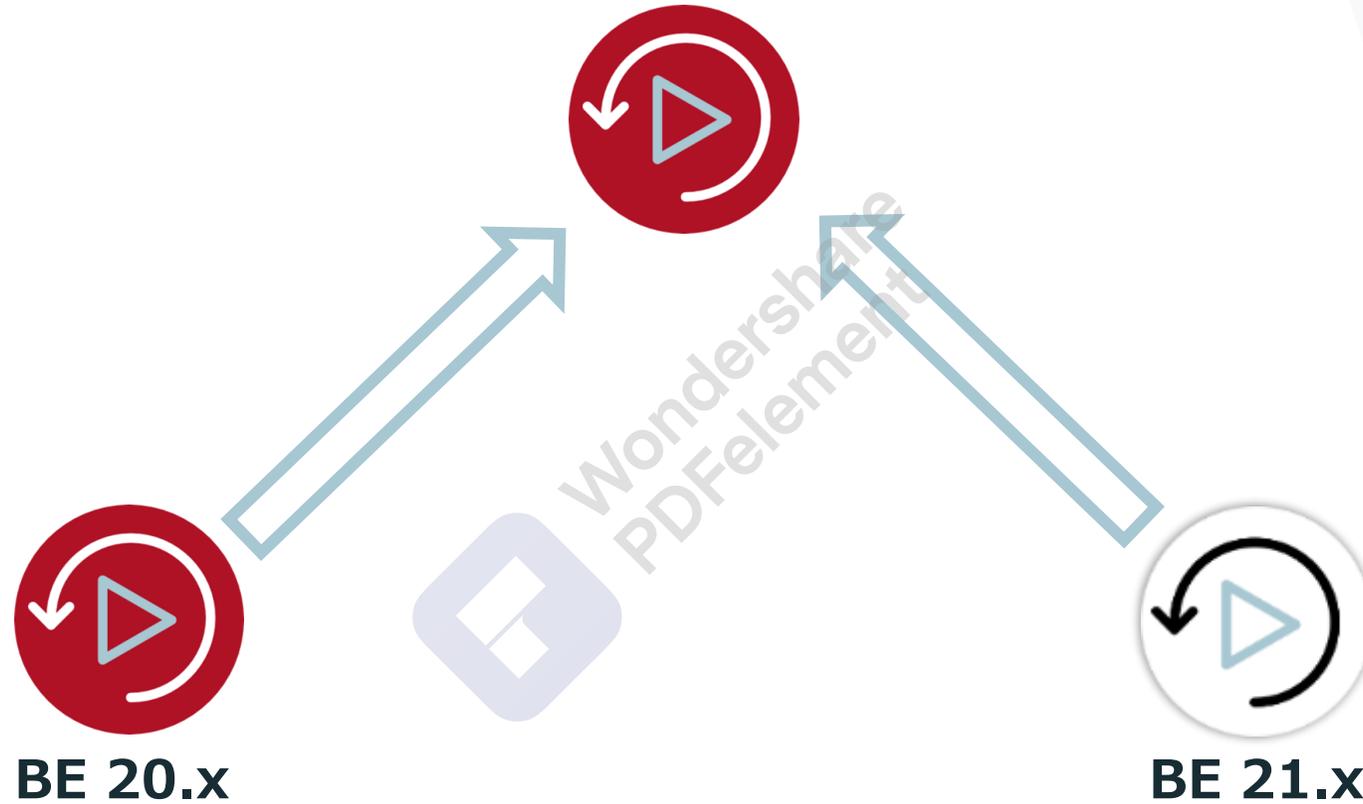


Veritas Backup Exec 22

その他の改良

- **Backup Execデータベース(BEDB)に64bit版のSQL Express 2017を採用**
 - 64bit環境に最適化
 - Backup Exec 22へのアップグレードはBackup Exec 21.x / 20.xからの直接アップグレードのみ
 - 段階アップグレードには対応していません (例: BE16 → BE20.x → BE22 NG)
- **Backup Execクラウド重複排除ストレージにS3互換ストレージのサポート**
 - 詳しい対応状況は弊社ハードウェアコンパティビリティリストをご確認ください。
- **S3互換クラウドストレージのv4認証(sign v4)をサポート**
 - 従来はv2認証のみ。v4認証では地域情報の送信が必要でしたが、この機能を提供するコマンドがBackup Execには備わっていませんでした。

Veritas Backup Exec 22 アップグレードの対応について



段階アップグレードは
推奨されていません

M365の保護を行うためには、Backup Execの
シンプルライセンスが必要となります

Veritas Backup Exec 22 シンプルライセンス

※Backup Execのライセンスに関するより詳しい説明は
こちらに掲載している「Backup Exec 22ライセンスガイド」をご確認ください。

<Veritas Solution Channel → 製品・ソリューション情報 → Backup Exec>
<https://www.veritas-solution.com/backup-exec>

Veritas Backup Exec 22 ライセンス



シンプルライセンス

BEシンプルのサブスクリプションライセンスプログラムは、わかりやすく、簡単に拡張もできて、M365の保護も含むすべての製品機能が含まれています。

スターターパック

- ✓ Backup Execサーバ
- ✓ 5インスタンス
- ✓ 10 M365ユーザ

拡張

- ✓ 簡単
- ✓ インスタンスを追加するだけ

メリット

- ✓ 簡素化
- ✓ すべての製品機能
- ✓ サブスクリプション

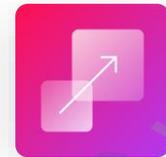
Veritas Backup Exec 22 ライセンス



新しいBackup Exec 22のライセンスモデルによるお客様のメリットは以下の通りです



ライセンスの簡素化



拡張可能な保護



セキュリティ
アップデートとパッチ



製品のフル機能



テクニカルサポートへの
アクセス

Veritas Backup Exec 22 ライセンス



新しく簡素化された
Backup Exec 22のライ
センスモデルは、すべての製品
機能を統合し、拡張可能
な単一パッケージで提供し
ます。

※Backup Execのライセンスに関するより詳しい説明は
こちらに掲載している「Backup Exec 22ライセンスガイド」をご確認ください。

<Veritas Solution Channel → 製品・ソリューション情報 → Backup Exec>
<https://www.veritas-solution.com/backup-exec>

すべての機能が含まれています

Veritas Backup Exec 機能一覧	
Backup Execサーバ →	
Windowsエージェント →	
VMware / Hyper-Vエージェント →	
重複排除オプション →	
アプリケーションとデータベースエージェント →	
Linux / Unixエージェント →	
Library Expansion Option (LEO) →	
Remote Media for Linux Servers (RMAL) →	
VTL Unlimited Drive Option (VUDU) →	
Enterprise Serverオプション →	
NDMPオプション →	
NEW! M365エージェント →	

NEW! BE Simple サブスクリプションライセンス	
	✓
	✓
	✓
	✓
	✓
	✓
	✓
	✓
	✓
	✓
	✓

Veritas Backup Exec 22 ライセンス

BE Simple

BE Simpleは、保護するデータソースの数に応じたInstance Licenses (📁) を使用します。

インスタンスライセンスは、物理マシンや仮想マシンなどの単一のデータソースまたはコンピュータインスタンスを保護します。

インスタンスライセンスは、コンピュータインスタンスの代わりに、最大10人のMicrosoft 365ユーザーを保護することができます。

インスタンスライセンスの保護例



仮想マシン

or



物理ホスト

or



10x M365ユーザ

Veritas Backup Exec 22 ライセンス



Backup Exec 22を新規にご購入のお客様は、Backup Exec サーバ、5インスタンス、M365ユーザー×10のボーナスが含まれる Core Packから導入します。

Backup Exec Core Pack

Backup Exec サーバ	
5x インスタンス	
10x M365ユーザー	

Veritas Backup Exec 22 ライセンス



追加の保護が必要な場合、お客様はインスタンスライセンスを追加するだけです。

Backup Exec Core Pack

The Backup Exec Core Pack includes a central console (monitor and server rack) and five server icons. Below it, ten user icons represent the included licenses.

Backup Exec Simple Add On

Three 'Add On License' boxes are shown, each containing a plus sign and a server icon. The third box also includes a group of ten user icons, indicating that this license type covers ten users.

追加の Add On License

追加の Add On License

追加の Add On License

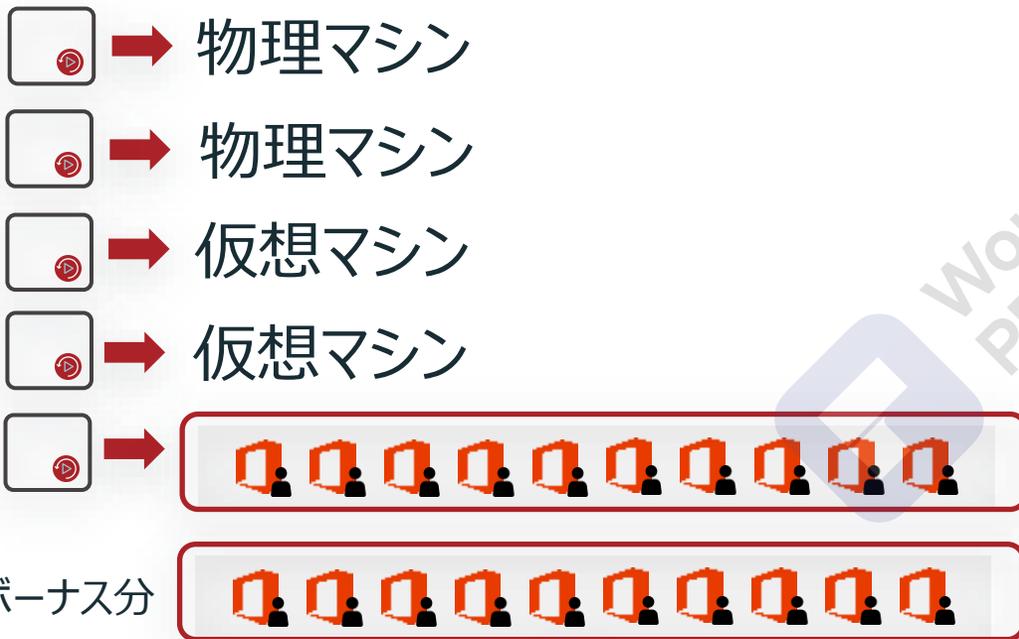
インスタンス: インスタンスとは、1つのコンピュータインスタンス（クラウド環境の仮想マシンやデータセンターの物理ホストなど）または10人のM365ユーザーと定義しています。

インスタンスの用途について

Simple Core Packの例:

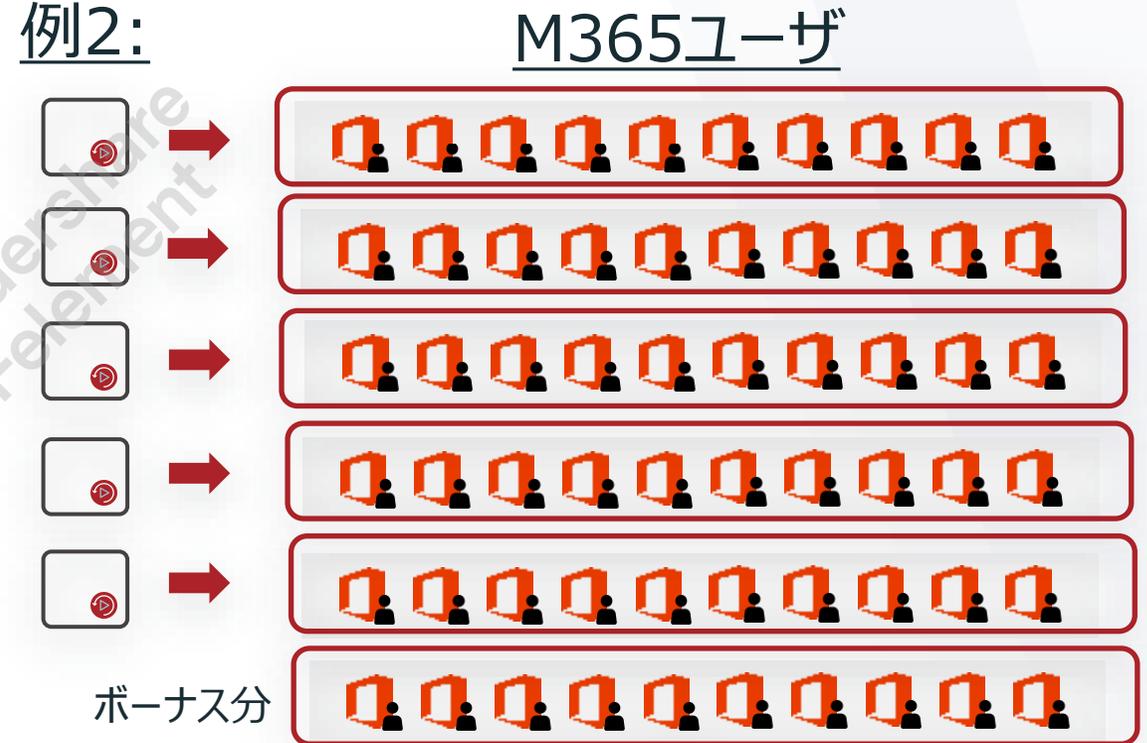
- Core Pack, Add onに含まれているインスタンスは、物理マシン、仮想マシンのバックアップに限らず、M365ユーザ10人分のバックアップとして使用することができます。
- インスタンスの用途は自由

例1:



物理マシン2台、仮想マシン2台、
M365ユーザ20人分のバックアップが可能

例2:



最大60ユーザ分のM365のバックアップが可能

インスタンスの用途について

Add onライセンスの例:

例1:



例2:



例3:



- インスタンスの用途は、後から変更できます
例: 当初は物理マシン → 後からM365の保護に
- 但し、一つのインスタンスを複数の用途で同時に使用することはできません。
例: 物理と仮想マシンの同時使用
- Add onライセンスにはM365のボーナスインスタンスはありません。

シンプルライセンスのアクティベート

Veritas Entitlement Management System からライセンスファイルをダウンロードするには、資格 ID を追加します。[次へ] をクリックし、資格へのアクセス権を持つベリタスユーザーアカウントのクレデンシャルを入力します。ライセンスファイルがすでにある場合は、[ライセンスファイルのインポート] ボタンを使用します。

資格 ID の入力

アクティベートされたライセンス:

資格 ID	製品名	開始日	終了日
	Backup Exec シンプルアドオン	2022/03/10	2022/07/06
	Backup Exec シンプルコアバック	2022/03/08	2022/07/06

[ライセンスエラーのトラブルシューティング](#)
[オンラインマニュアルの表示](#)
[Backup Exec パートナーの検索](#)
[ライセンスの有効化、アップグレード、または更新](#)
[Backup Exec の購入。](#)

シンプルライセンスのアクティベート

資格 ID	エディション名 (説明を表示するには名前をクリックしてください)	割り当て済みの数	利用可能な数
	Backup Exec シンプルコアパック	1	5
	Backup Exec シンプルアドオン	100	100

インスタンスを他のBEサーバに
割り当てることができます
例: BEサーバA:5インスタンス
BEサーバB:100インスタンス

シンプルライセンスのアクティベート

The screenshot shows the Veritas Backup Exec installation wizard window. The title bar reads "Backup Exec (TM)". The main header features the Veritas logo and "Veritas Backup Exec™".

On the left, a navigation pane lists the following steps:

- ✓ ライセンスの追加
- ✓ ライセンスの確認
- ▶ **機能の設定**
- 言語の選択
- インストールの概要
- 進行状況
- 完了

The main area is titled "インストールする機能を選択してください:" (Select features to install:). It contains a tree view of features with checkboxes:

- Backup Exec
- Copy Server Configurations
- Deduplication Feature
- Enterprise Server Feature
 - Advanced Disk-based Backup Feat
 - Central Admin Server Feature
- Managed Backup Exec server
- Remote Media Agent for Linux
- Virtual Tape Library Support
- ヘルプと管理者ガイド
- SaaS ワークロードサポート (highlighted with a red box)
- Microsoft 365
- オンプレミスエージェントと機能
 - Agent for Applications and Databases
 - Agent for Linux and Unix Servers
 - Agent for VMware and Hyper-V
 - NDMP Feature

On the right, the "機能の説明:" (Feature description) section for "Backup Exec" is displayed:

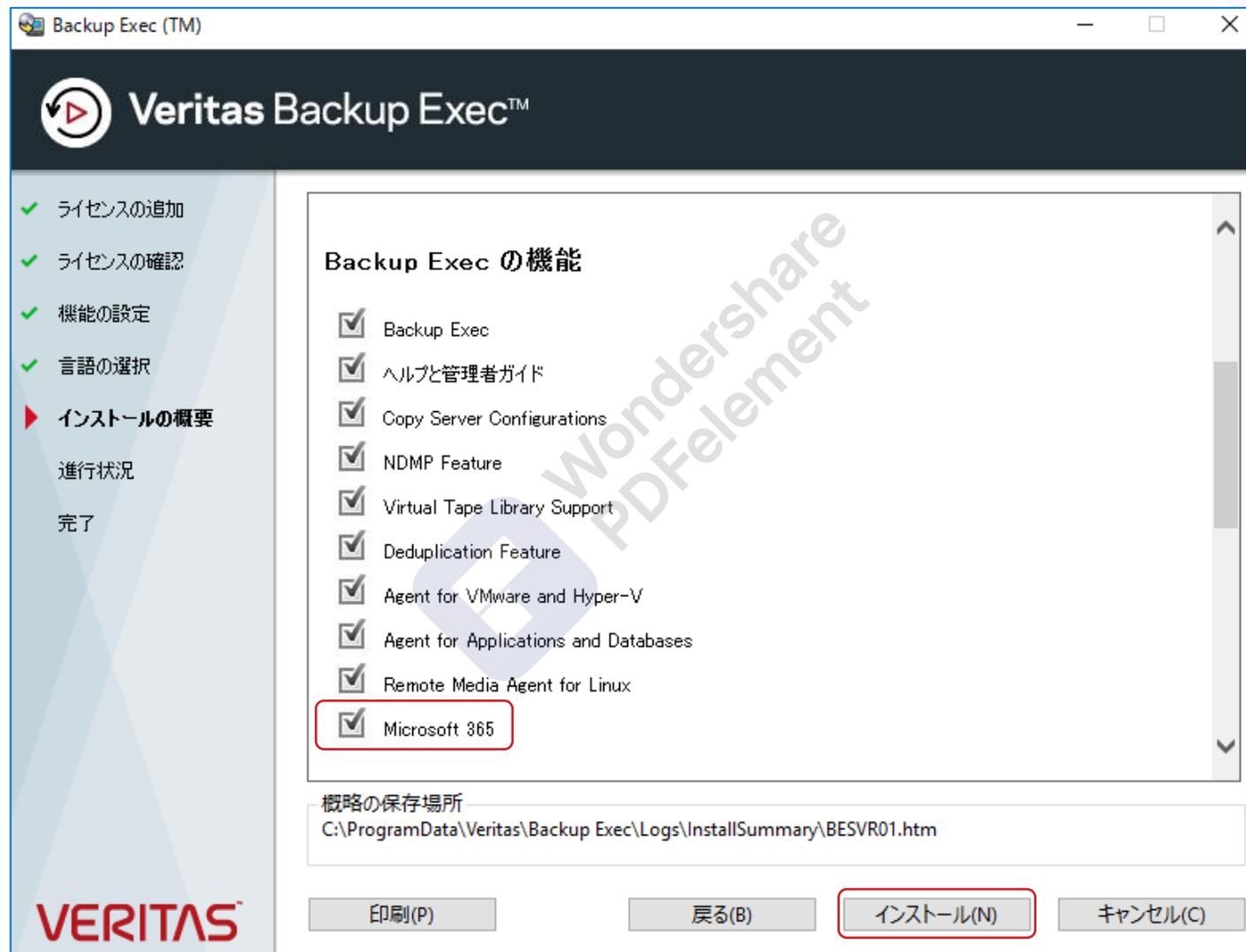
Backup Exec
テープおよびディスクベースのバックアップを実行するのに必要な Backup Exec サーバーのコアコンポーネントをインストールします。Backup Exec サーバーでは、オプションの Backup Exec エージェントを通じて、リモートコンピュータをバックアップします。Backup Exec サーバー上で、Backup Exec エージェントおよび機能のライセンスを入力します。

サポートされているソフトウェア、プラットフォーム、テープデバイスについては詳しくは、Backup Exec のソフトウェアおよびハードウェアの互換性リストを参照してください。

サポートリンク:
[ソフトウェア互換性リスト](#)
[ハードウェア互換性リスト](#)
[ライセンスガイドの表示](#)

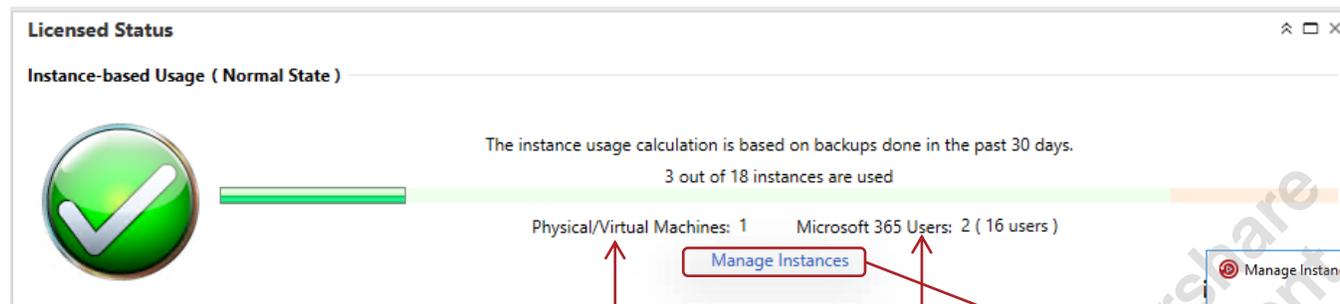
At the bottom, there are three buttons: "戻る(B)" (Back), "次へ(N)" (Next), and "キャンセル(C)" (Cancel). The Veritas logo is visible in the bottom left corner of the window.

シンプルライセンスのアクティベート



ライセンスのステータス (Backup Exec管理コンソール)

注) この画面は、正式版から取得したものではないため、英語表示となっています。



この例では、物理または仮想マシンが1台、M365のユーザ16人分(2インスタンス)のバックアップがインスタンスを消費しています

Physical/Virtual Machines		Microsoft 365 Users	
Physical/Virtual Machines:	0	Microsoft 365 Users:	1 (3 users)
Total selected instances:	1	Total entitled instances:	23

Physical/Virtual Machines	Microsoft 365 Users
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

User ID	Tenant ID	Application	Job Name
<input checked="" type="checkbox"/> administrator@sprintslab.onmicrosoft.c	sprintslab.onmicrosoft.com	Exchange,OneDrive	sprintsla
<input checked="" type="checkbox"/> AdeleV@sprintslab.onmicrosoft.com	sprintslab.onmicrosoft.com	Exchange,OneDrive	sprintsla
<input checked="" type="checkbox"/> AlexW@sprintslab.onmicrosoft.com	sprintslab.onmicrosoft.com	OneDrive	sprintsla

さらに内訳を確認することができます
(こちらは、違うところから持ってきた画面キャプチャーです)

<参考> シンプルライセンスの価格

サブスクリプションライセンス		ベーシックメンテナンス付		エッセンシャルサポート付	
製品名称	区分	型番	メーカー希望 小売り価格 (税別)	型番	メーカー希望 小売り価格 (税別)
Simple Core Pack (5 instance)	新規 (1年間)	32147-M0008	¥99,400	32149-M0008	¥108,000
Simple Add On (1 instance)	新規 (1年間)	32148-M0008	¥16,600	32150-M0008	¥ 18,000

注) 2022年7月時点の1年間保守付きのCorporate価格です (税別)。製品仕様/価格などの内容は、予告無く変更される場合があります。
上記価格に記載の無い製品の価格等は、ご購入元/仕入れ元の販売店様、もしくは弊社購入前窓口ベリタスセールスインフォメーションセンターまでお問い合わせ下さい。

※Backup Execのライセンスに関するより詳しい説明は
こちらに掲載している「Backup Exec 22ライセンスガイド」をご確認ください。

<Veritas Solution Channel → 製品・ソリューション情報 → Backup Exec>
<https://www.veritas-solution.com/backup-exec>

シンプルライセンス計算用ツール

Enter the number of workloads you want to protect to see requirements

Windows/Linux/UNIX/AIX/NDMP

Virtual VMs ⓘ
1000
Maximum 999

Physical Devices ⓘ
0

M365 Users ⓘ
0

Required Licenses:

BE Simple Core Pack 1 Includes all features and options of Backup Exec, plus 5 Instances* which can be used for any physical, virtual or 10 M365 users instance (base requirement per site)	BE Simple Add On 32 Includes 1 Instance* (requires BE Simple Core Pack)
---	---

*An Instance is defined as a single compute instance (e.g., a virtual machine in cloud environment or physical host in a data center) or 10 M365 users.

Web ベースのライセンス計算ツール。保護するリソース数を入力し、必要となるBackup Execシンプルライセンス数を算出することができます。

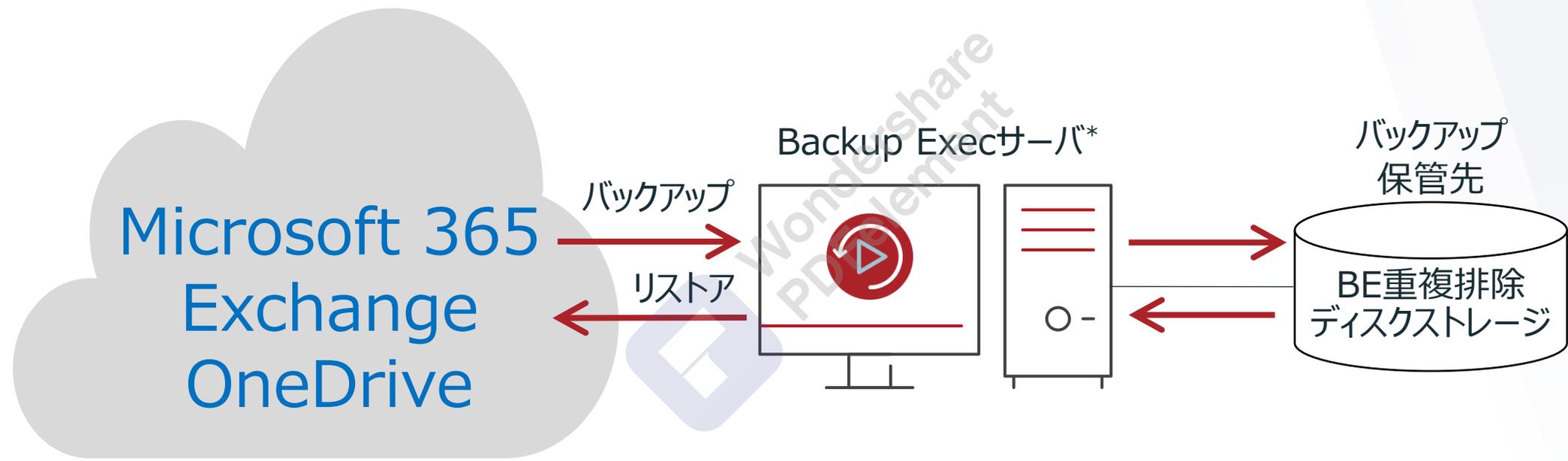
<https://www.veritas.com/resources/be-simple-license-calculator>

Veritas Backup Exec 22 Microsoft 365の保護

画面例 (Exchange Online, OneDrive)

Veritas Backup Exec 22 Microsoft 365の保護

SharePointと Teamsは、次期リリースで対応予定



*オンプレミス、クラウドに配備が可能

Veritas Backup Exec 22

Microsoft 365の保護: システム要件

- Backup Execサーバーに適切なハードウェア（メモリ、CPU、高性能ディスク）とインターネットの回線速度が備わっていること
- ガイドライン
 - 個々のユーザーのメールボックス/OneDriveが約50個、バックアップアイテム（メール、ファイル、フォルダーなど）約200万個：
 - 8個の論理プロセッサ、M365バックアップ用に使用可能なメモリ: 8GB
 - 個々のユーザーのメールボックス/OneDriveが約300個、バックアップアイテム（メール、ファイル、フォルダーなど）約1,200万個以上：
 - 16個の論理プロセッサ、M365バックアップ用に使用可能なメモリ: 16GB
- また重複排除ディスクストレージの要件も考慮しなければならないため、重複排除とMicrosoft 365の要件のうち、高い方を採用します。
- Backup Execバージョン22が必要です。Backup Execバージョン21.x/20.xは対応していません。
- 先ほど説明した「シンプルライセンス」が必要です。シンプルライセンスは、BE21/20に導入することはできません。
 - 従来のライセンスタイプ（Bronze/Silver/Gold, V-Ray, 単体ライセンス）はMicrosoft 365の保護には対応していません。
- M365のバックアップデータの保管先は、Backup Execの「重複排除ディスクストレージ」となります。他のタイプのストレージ（テープ、ネットワーク共有、クラウド等）には格納できません。
 - 但し、バックアップの複製先として使用するストレージは、Backup Execがサポートするストレージを指定することは可能です（テープ、クラウドストレージ等はOK）

Veritas Backup Exec 22 テナントの追加

重複排除用ディスクストレージの準備

The screenshot shows the Veritas Backup Exec software interface. The 'ストレージ' (Storage) tab is selected. In the '設定' (Settings) section, the '重複排除用ディスクストレージ' (Deduplication Disk Storage) option is highlighted with a red box. The table below shows the configuration for this storage type.

名前	状態	ストレージの種類	アク
ローカル重複排除用ディスクストレージ	オンライン	重複排除用ディスクストレージ	

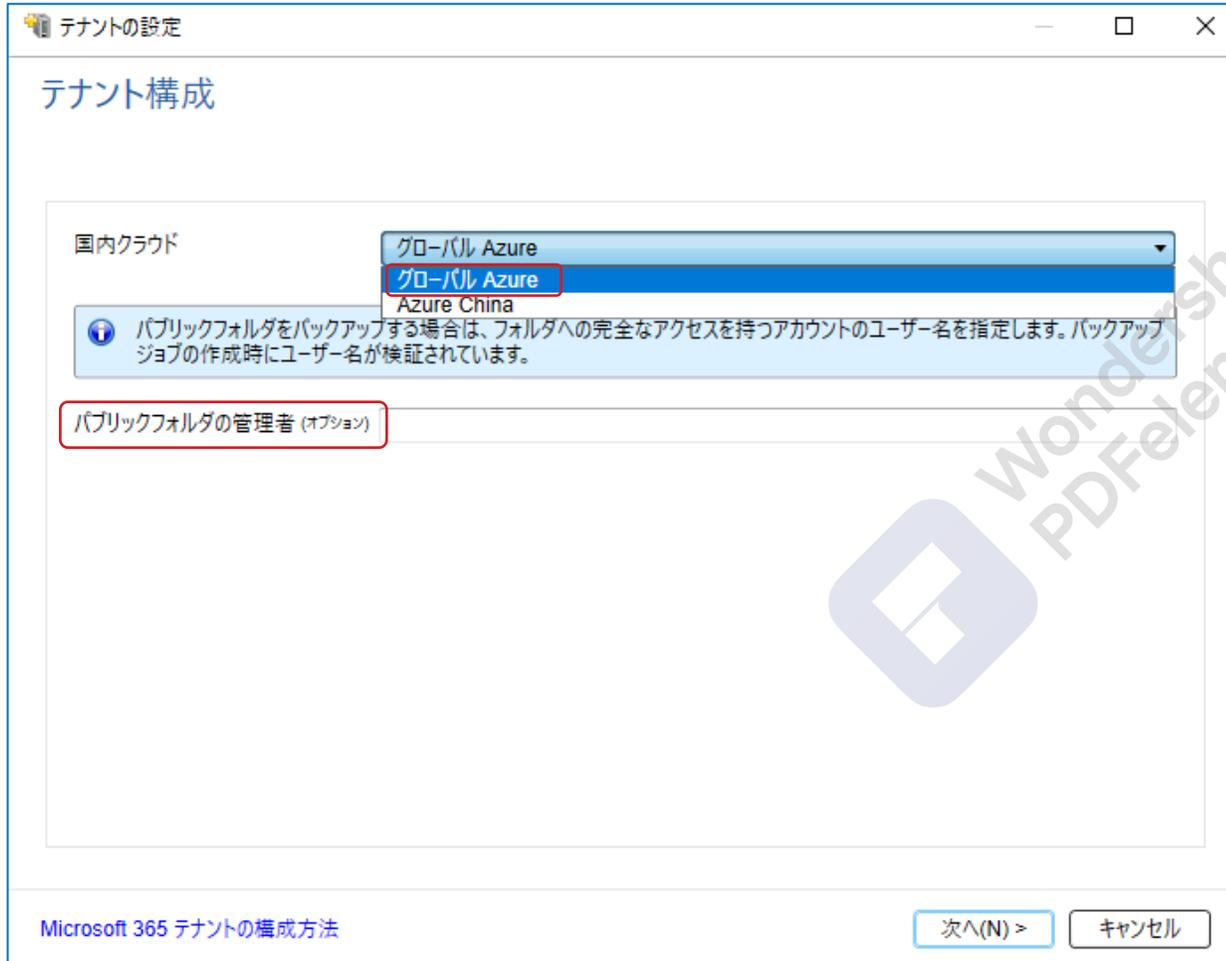
ローカルの重複排除ディスクストレージをあらかじめ用意しておく必要があります。ここにM365のバックアップが保存されます。

M365テナントの追加

The screenshot shows the Veritas Backup Exec™ interface. The 'バックアップとリストア' (Backup and Restore) tab is active. In the '追加' (Add) button dropdown menu, 'Microsoft 365 テナントの追加' (Add Microsoft 365 Tenant) is highlighted with a red box. The main area displays a table of servers.

グループ	サーバー ▲	アクティブアラート	状態	過去 7 日間	最終バックアップ	次のバックアップ
すべてのサーバー すべてのサーバーとアプリ... 1 サーバー	besvr01		バックアップされていません	←		
破棄サーバー このグループのサーバーは... 0 サーバー						

M365テナントの構成



テナントの設定

テナント構成

国内クラウド

グローバル Azure
グローバル Azure
Azure China

パブリックフォルダをバックアップする場合は、フォルダへの完全なアクセスを持つアカウントのユーザー名を指定します。バックアップジョブの作成時にユーザー名が検証されています。

パブリックフォルダの管理者 (オプション)

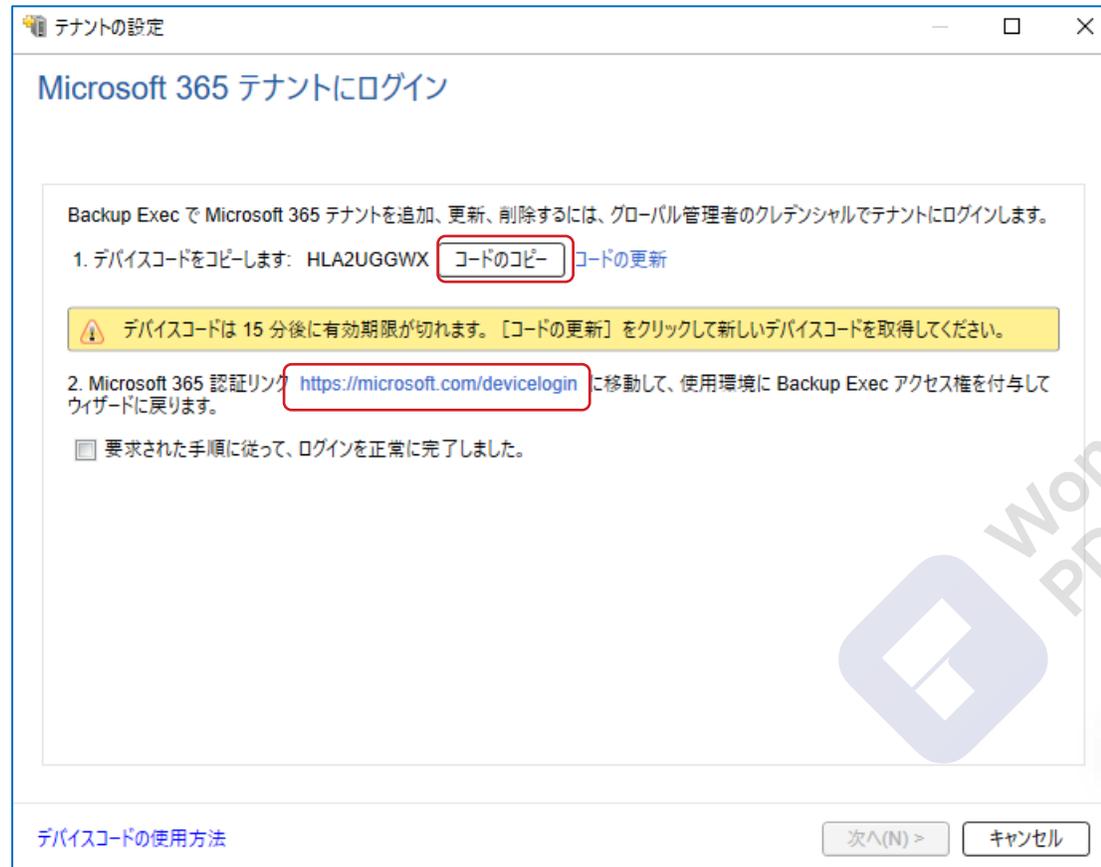
Microsoft 365 テナントの構成方法

次へ(N) > キャンセル

M365のテナントのタイプを選びます。ここでは、「グローバルAzure」を選びます。

パブリックフォルダをバックアップする場合は、ここでパブリックフォルダのルートレベルの管理者権限を持つユーザのEメールアドレスを入力します。ここでは入力していません。

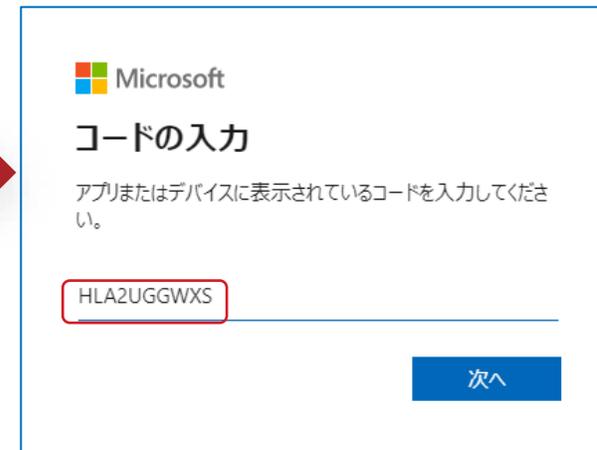
M365テナントにログイン



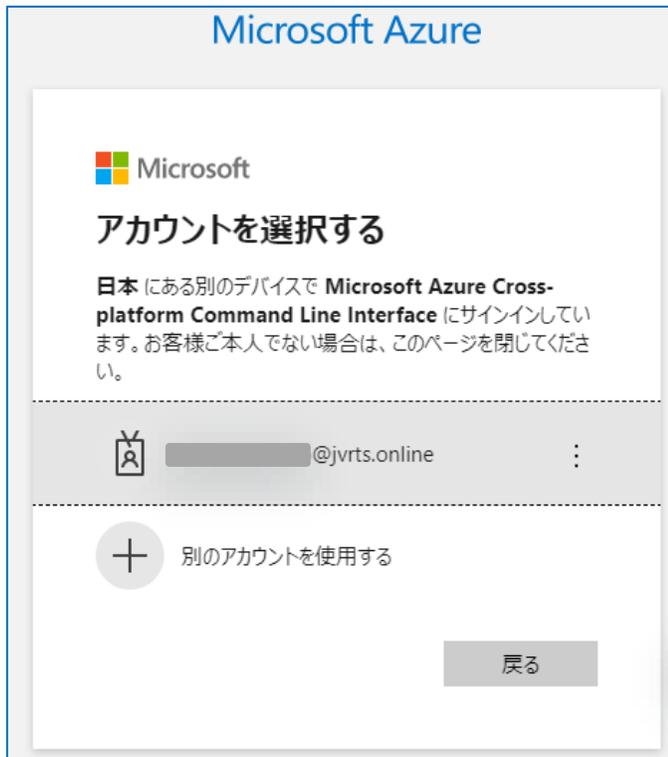
「コードのコピー」ボタンをクリックします。

M365のログインリンクをクリックします。

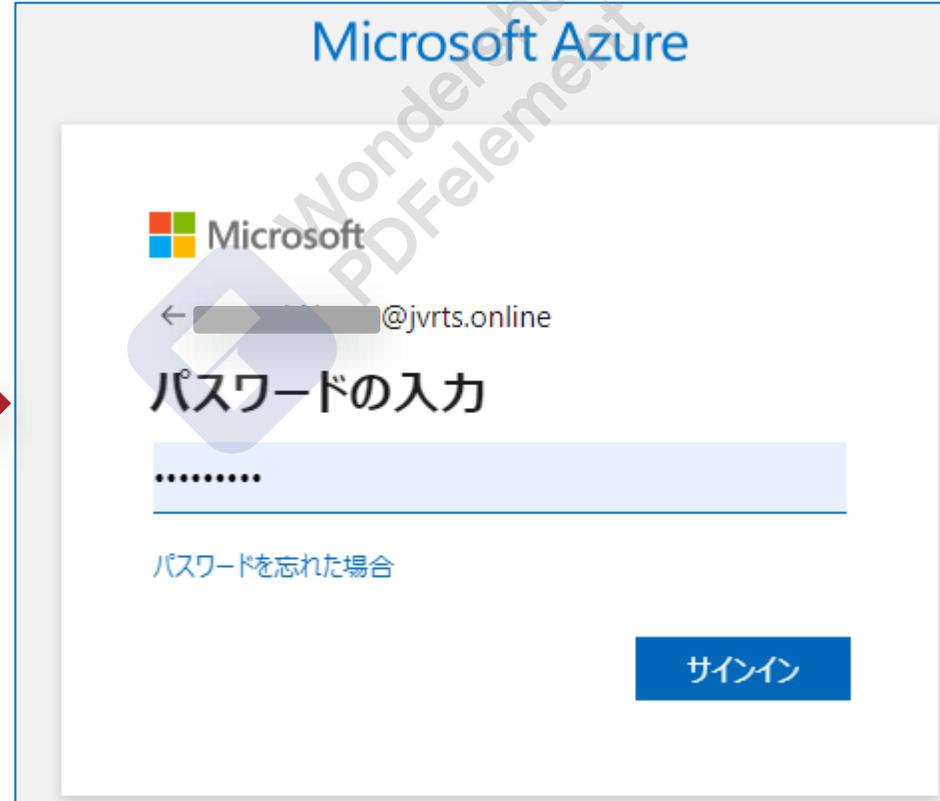
デバイスコードを貼り付けます。



M365テナントにログイン



「グローバル管理者権限を持つアカウントを使ってテナントにログインします
※このときだけ使います。Backup Exec側で勝手にアクセスしたり、
ID/パスワードを保存することはありません。



M365テナントへのログイン

Microsoft Azure



@jvrts.online

Microsoft Azure CLI にサインイン しますか?

信頼できるストアまたは Web サイトからアプリをダウンロードした
場合のみ、続行してください。

キャンセル

続行



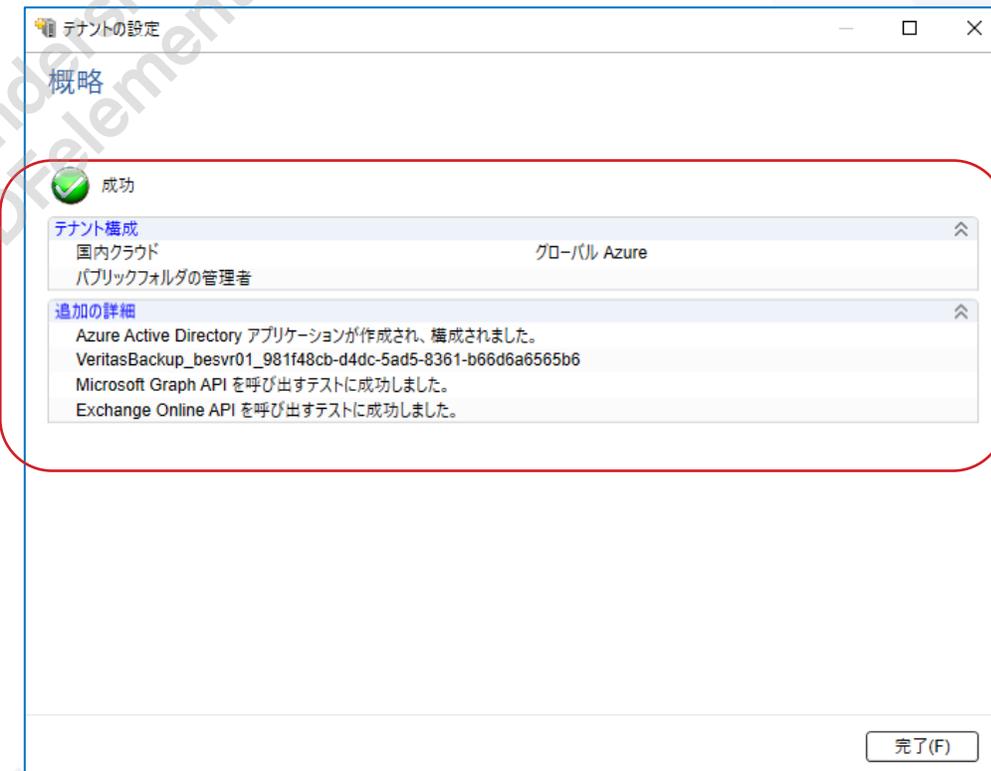
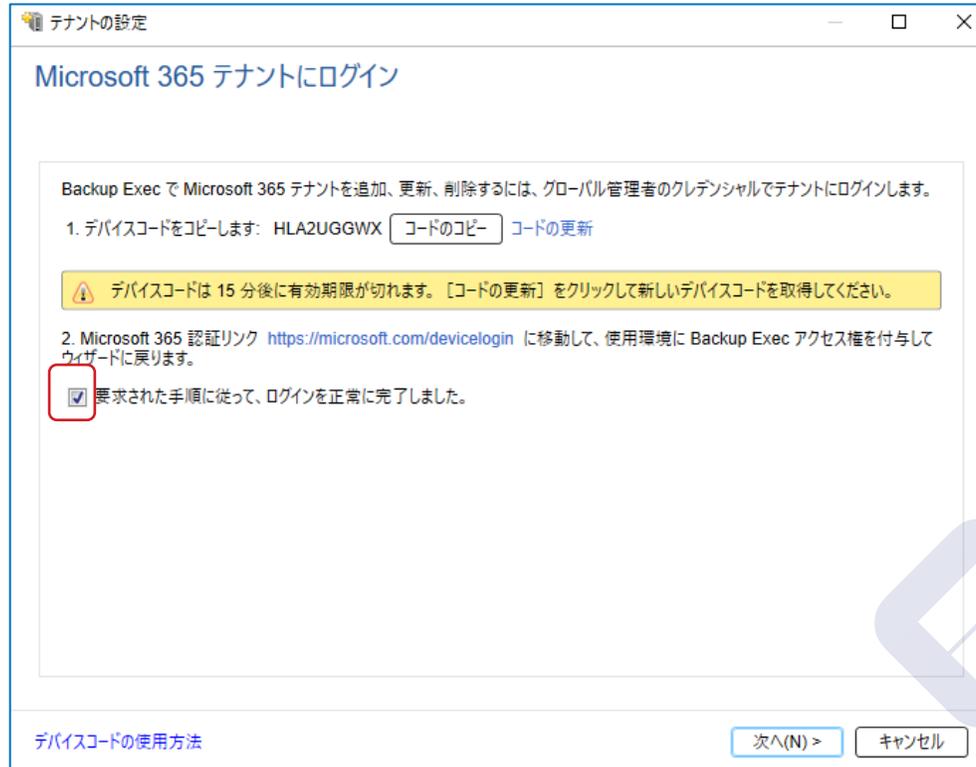
Microsoft Azure Cross-platform Command Line Interface

デバイスの Microsoft Azure Cross-platform Command
Line Interface アプリケーションにサインインしました。このウ
ィンドウは閉じてかまいません。

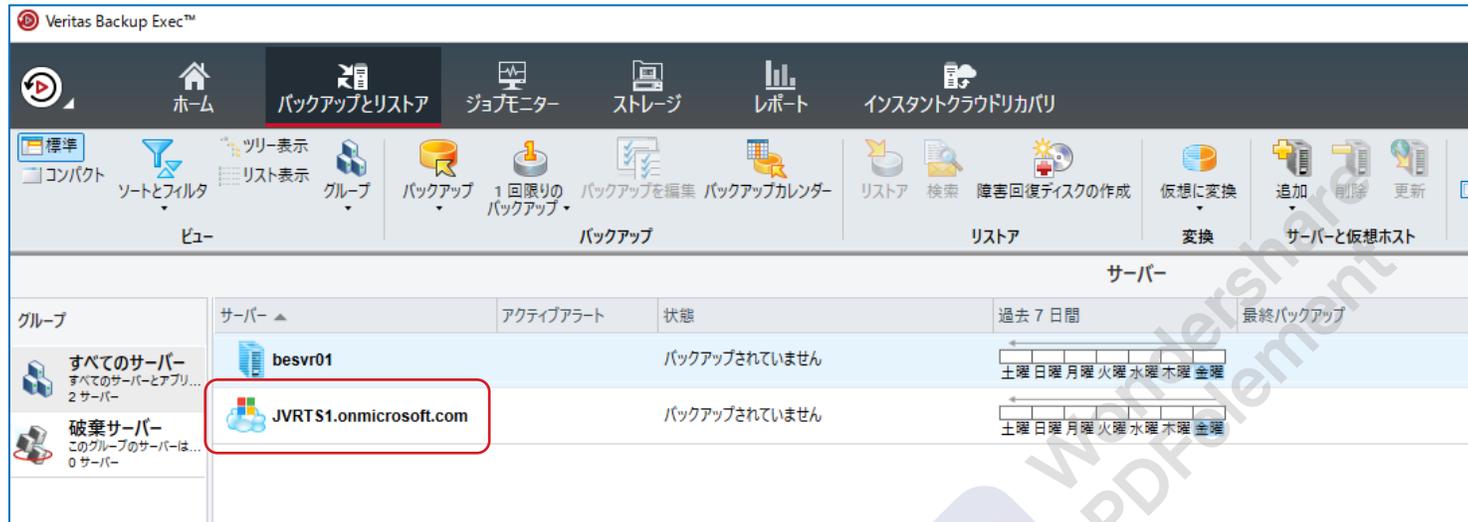
M365テナントへのログイン

デバイスのログインが完了したら、チェックボックスにチェックを入れます。

テナントの設定が完了すると、下記のように表示されます。Azure Active Directoryへのアプリケーションの登録が完了したこと、テナントから必要なAPIを呼び出して、バックアップに必要なデータを取得する準備が整ったことが確認できます。



M365テナントの追加

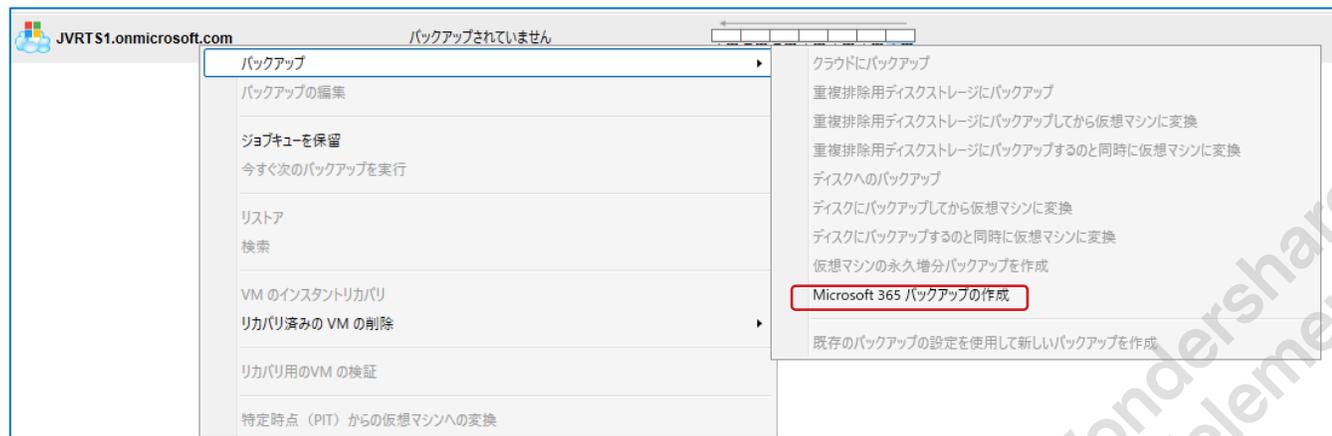


M365のテナントがサーバー一覧に追加されたことが確認できます。

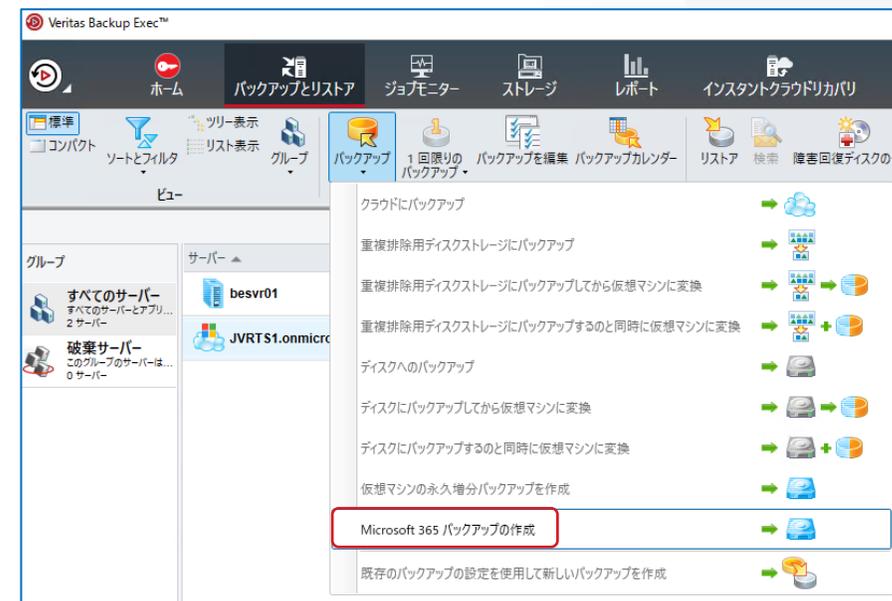
- テナントを追加するにあたって、Backup ExecはOpen Authorization (OAuth 2.0)を使用しています。所有者の代わりにリソースへのアクセスを許可するためのプロトコルです。許可がおりると、証明書が発行されて、M365のポータルへの接続/認証できるようになり、バックアップとリストアに必要なデータの読み取り、書き込みが可能となります。
- 証明書はBackup Execサーバに格納され、デフォルトでは証明書の有効期限は2年となっています。有効期限の30日前から毎日警告を発します。証明書はBackup Execの管理コンソールから更新することができます。

Veritas Backup Exec 22 Exchange Onlineのバックアップ

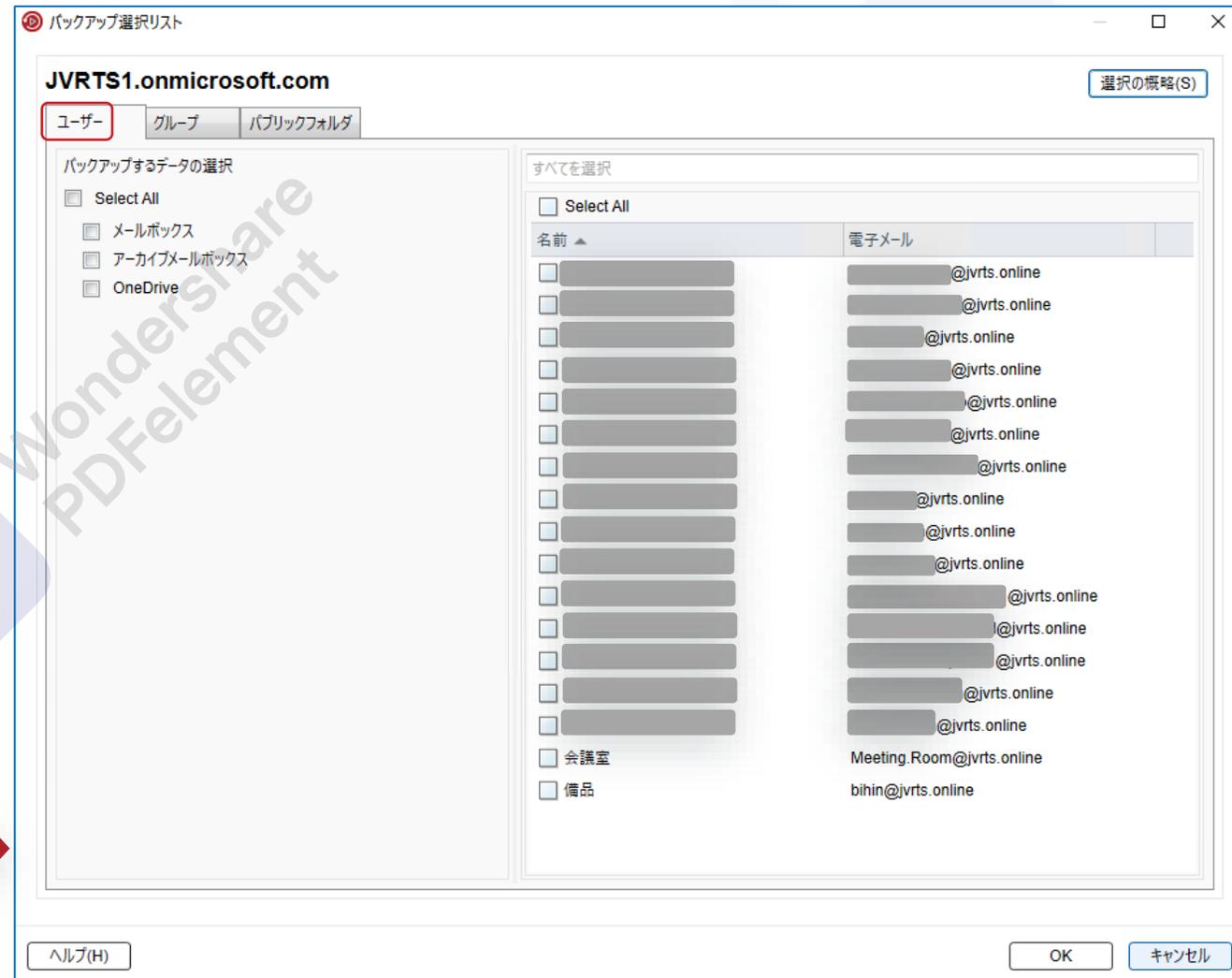
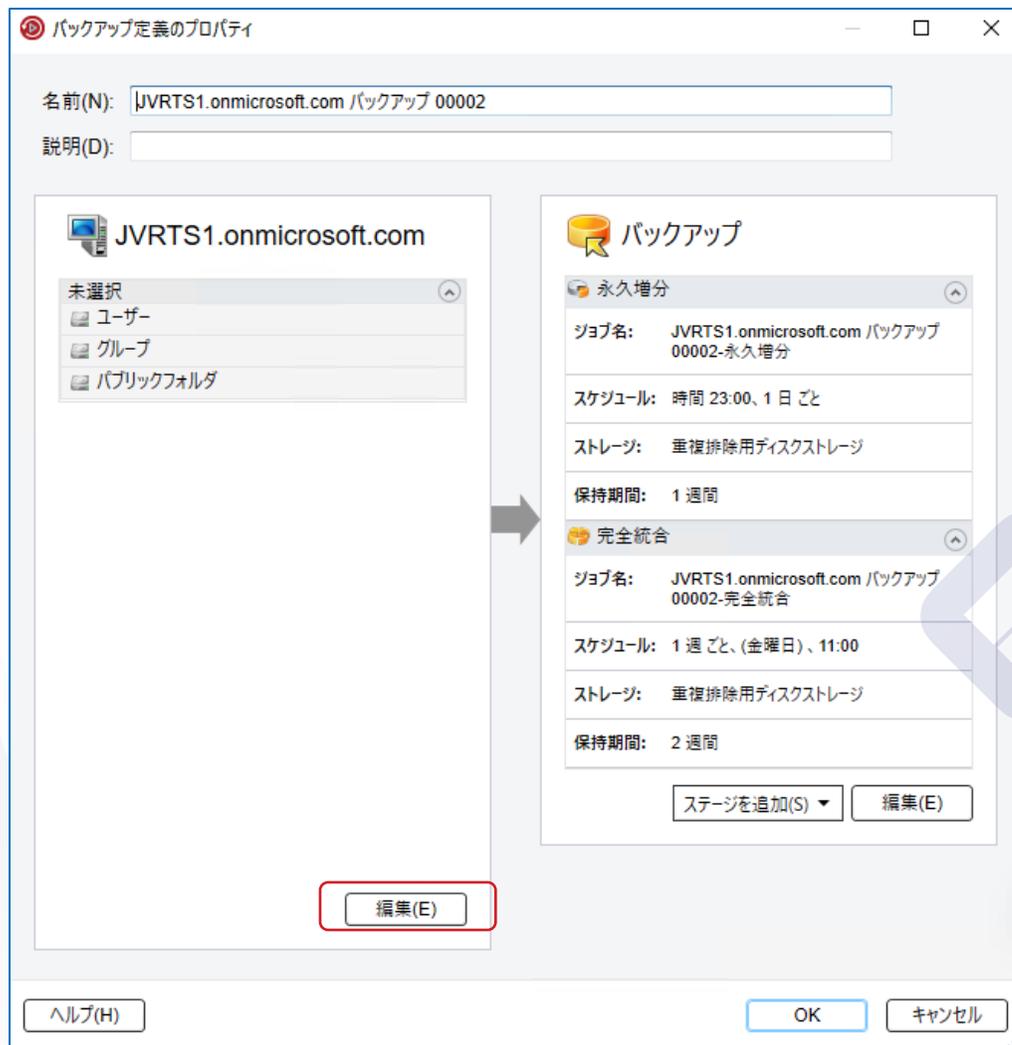
M365バックアップの作成 (Exchange Online)



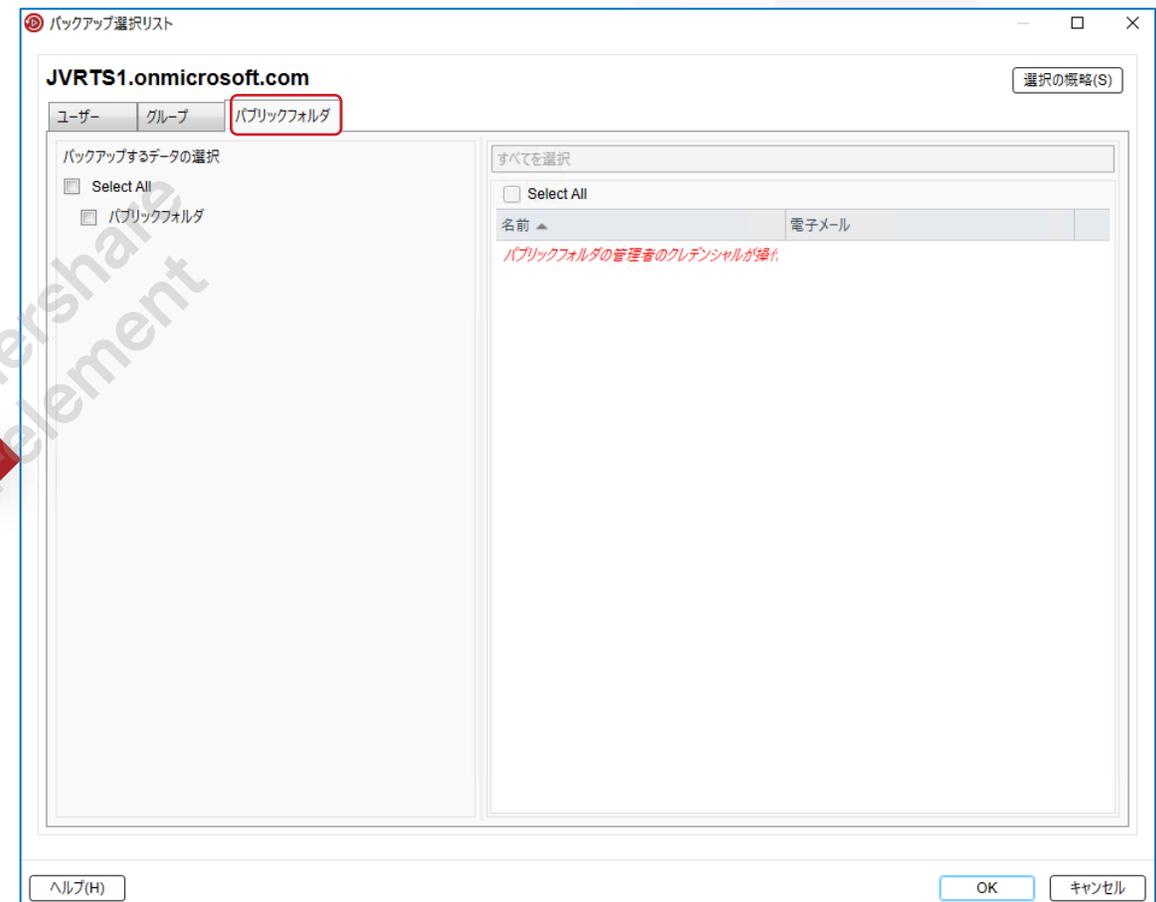
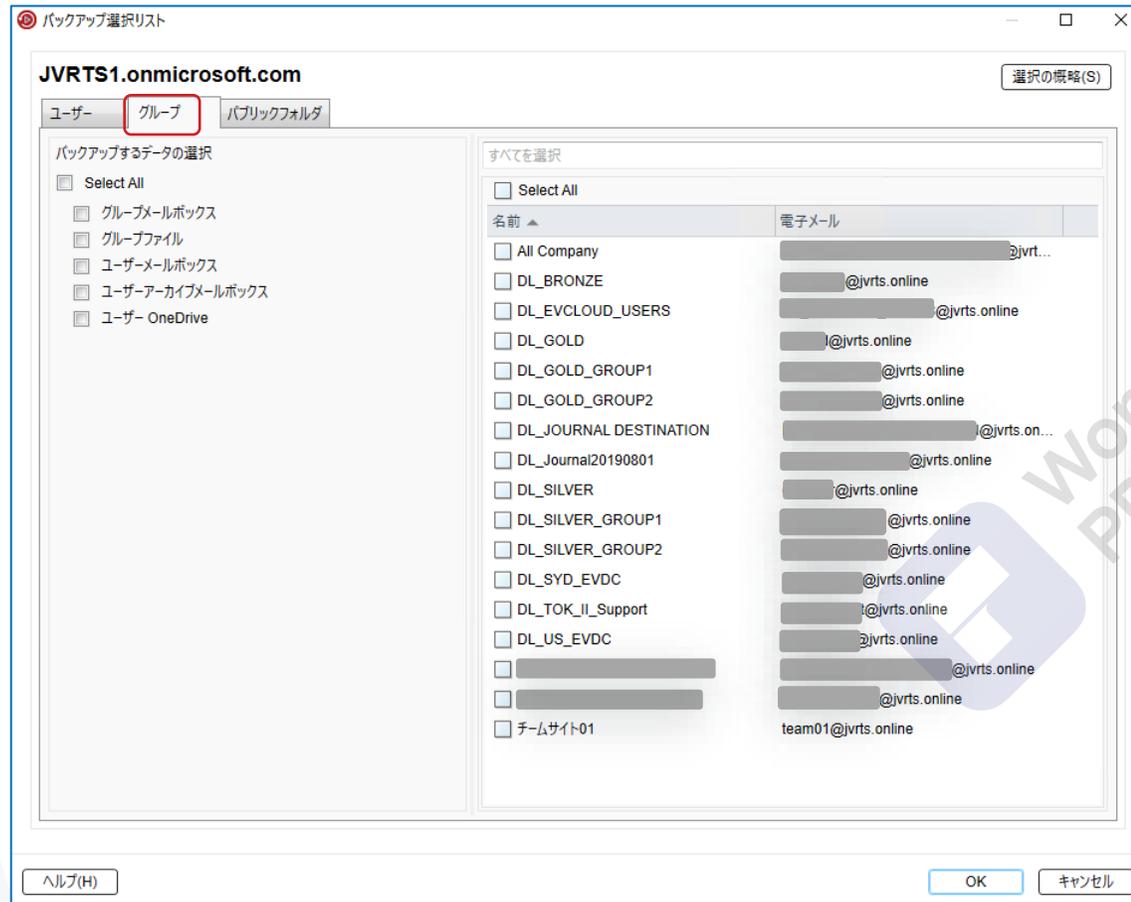
「Microsoft 365バックアップ作成」を選びます。



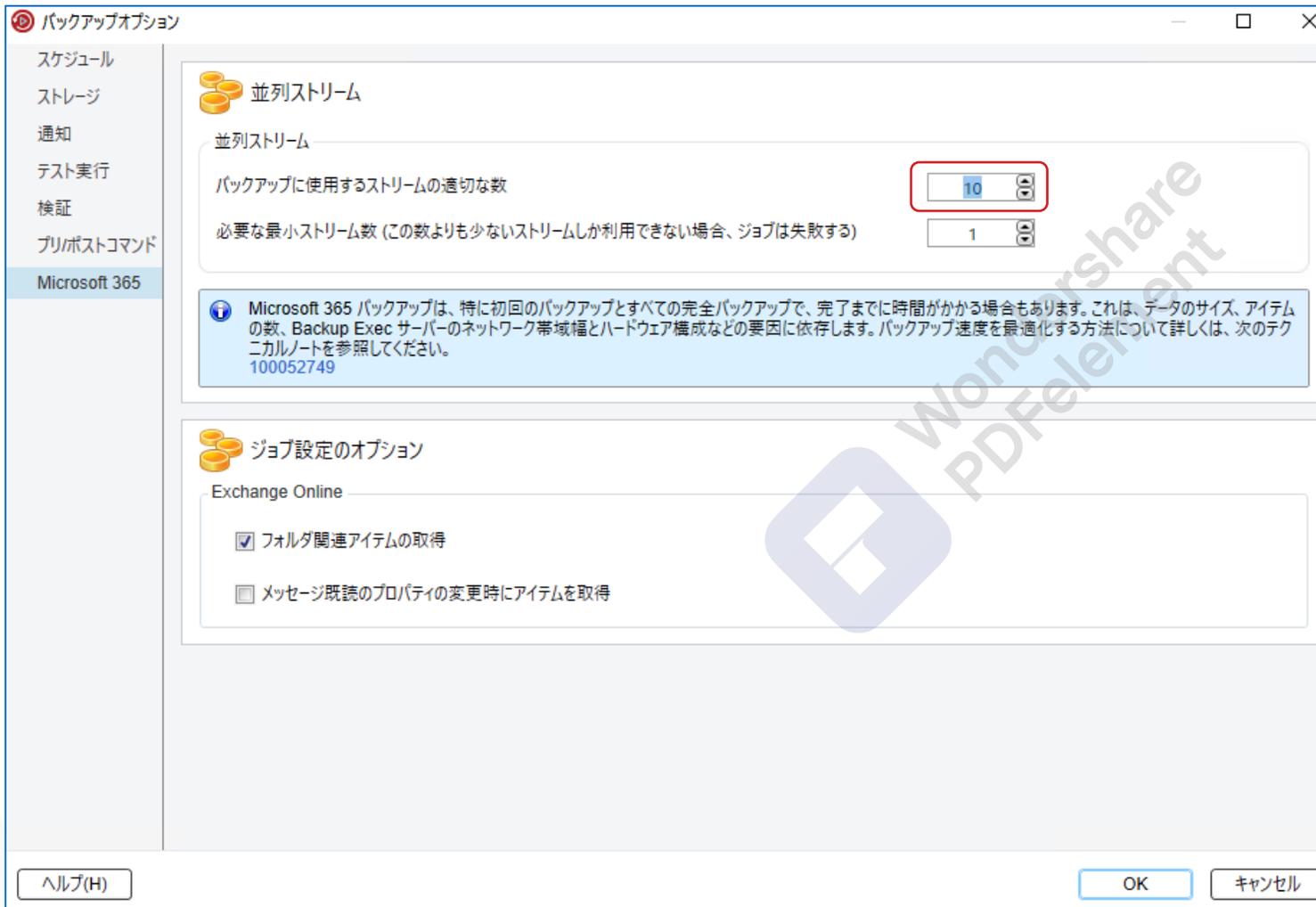
M365バックアップの作成 (Exchange Online)



M365バックアップの作成 (Exchange Online)



M365バックアップの作成 (Exchange Online)



- バックアップに使用するストリームの数を指定することができます。
- デフォルトが10で、通常この値で十分ですが、性能が十分ではない場合、最大32まで設定することが可能です。
- 詳細はこちらのKBもご確認ください。

<Backup Exec を使用した Microsoft 365 のバックアップ> (日本語)

https://www.veritas.com/content/support/en_US/article.100053289

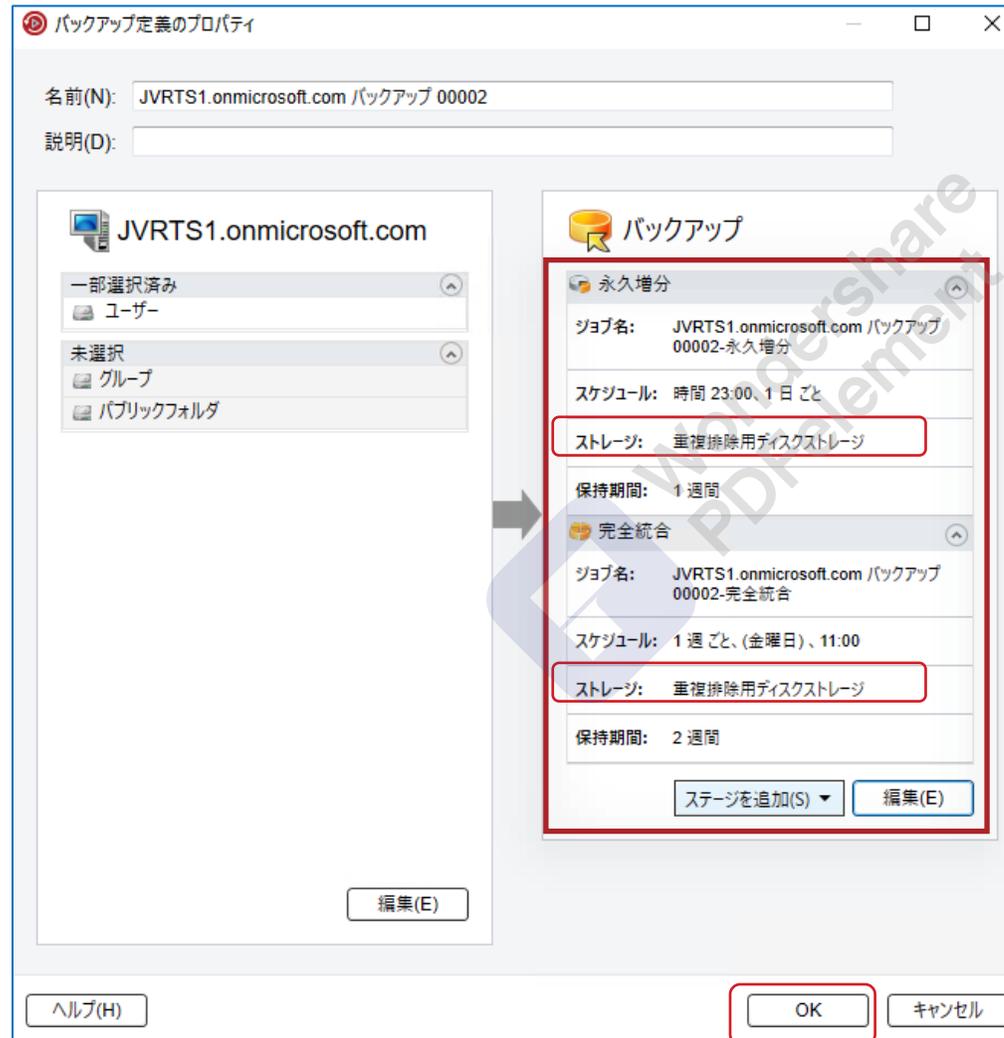
<Performance tuning and Throttling configuration in M365 Exchange plugin of Backup Exec>

https://www.veritas.com/content/support/en_US/article.100053234

<Performance tuning and Throttling configuration in M365 OneDrive plugin of Backup Exec>

https://www.veritas.com/content/support/en_US/article.100053233

M365バックアップの作成 (Exchange Online)



- バックアップ方式は「仮想マシンの永久増分バックアップv2方式」を参考にしています。
 - 永久増分
 - 完全統合
- 「完全統合」では、ポインター情報の移し替え（block cloning）だけで、新たなフルバックアップに統合します。
- Block cloningを使用するためには、ストレージ設定をローカルの重複排除ディスクストレージに揃えておく必要があります。

M365バックアップの作成 (Exchange Online)

Veritas Backup Exec™

ホーム バックアップとリストア **ジョブモニター** ストレージ レポート インスタントクラウドリカバリ

標準 ツリー表示 リスト表示 コンパクト ソートとフィルタ ビュー バックアップカレンダー バックアップ リストア このジョブによって作成されたバックアップセットをリストア 編集 削除 キャンセル 優先度 今すぐ実行 失敗したリソースのみ再試行 保留 テスト実行 ジョブのアクティビティ ジョブ履歴を表示 ジョブ履歴

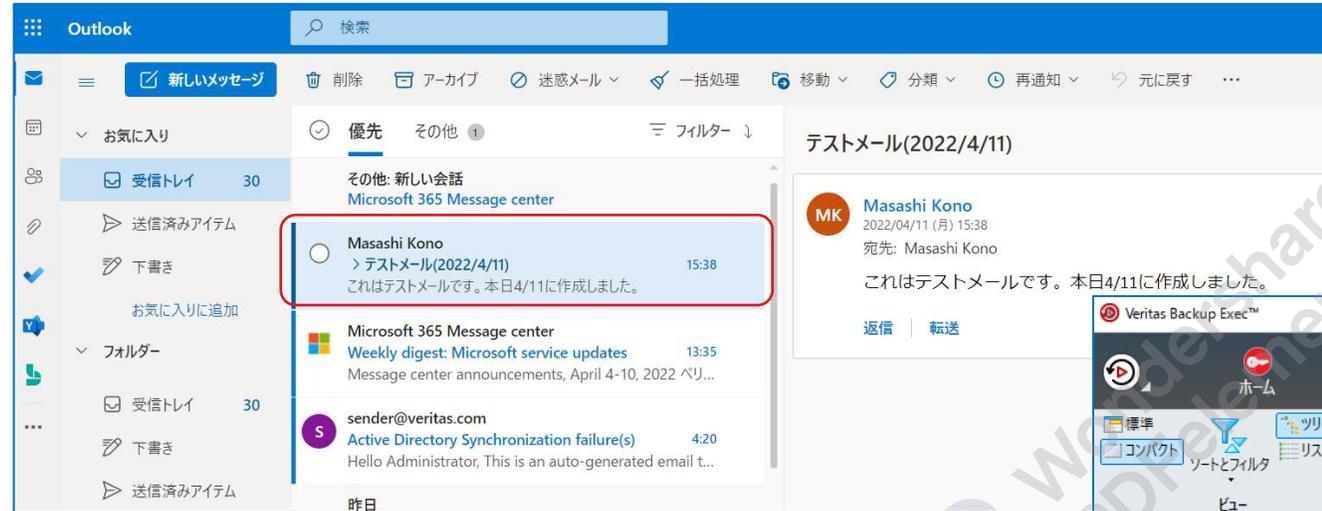
ジョブ - 2 項目

名前	サーバー	ストレージ	ジョブの種類	状態	ジョブの状態
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00002	JVRTS1.onmicrosoft.com		バックアップ		
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00002-永久増分	JVRTS1.onmicrosoft.com	重複排除用ディスクストレージ	増分バックアップ	スケジュール済み	スケジュール済み
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00002-完全統合	JVRTS1.onmicrosoft.com	重複排除用ディスクストレージ	完全バックアップの統合	スケジュール済み	スケジュール済み

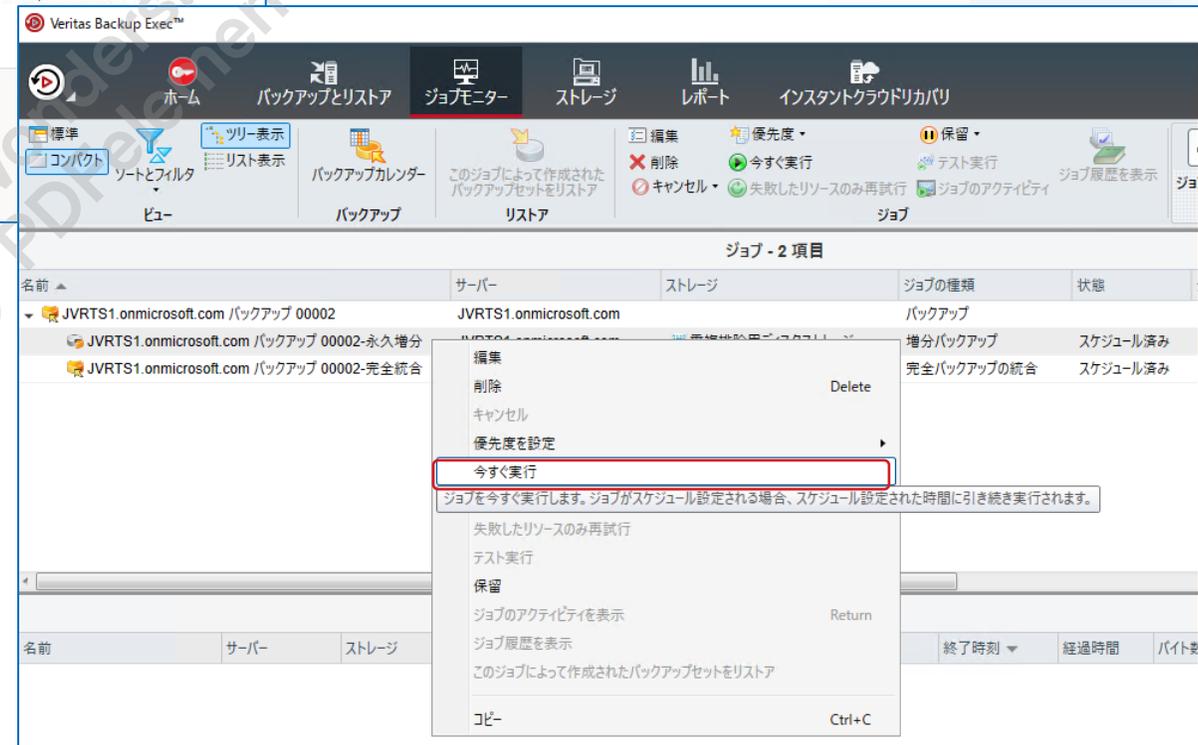
- 「仮想マシンの永久増分バックアップ」と同じバックアップテンプレートが使われています。

M365バックアップの実行 (Exchange Online)

outlook



- テストメールが含まれた状態でバックアップを取ります。
- 一番最初のバックアップはフルバックアップです。



M365バックアップの実行 (Exchange Online)



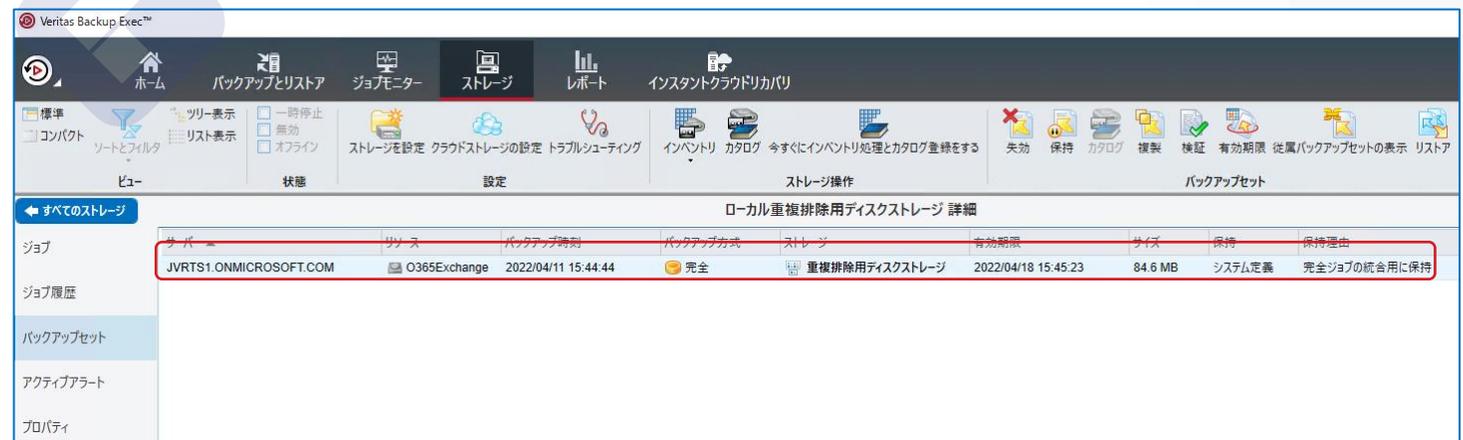
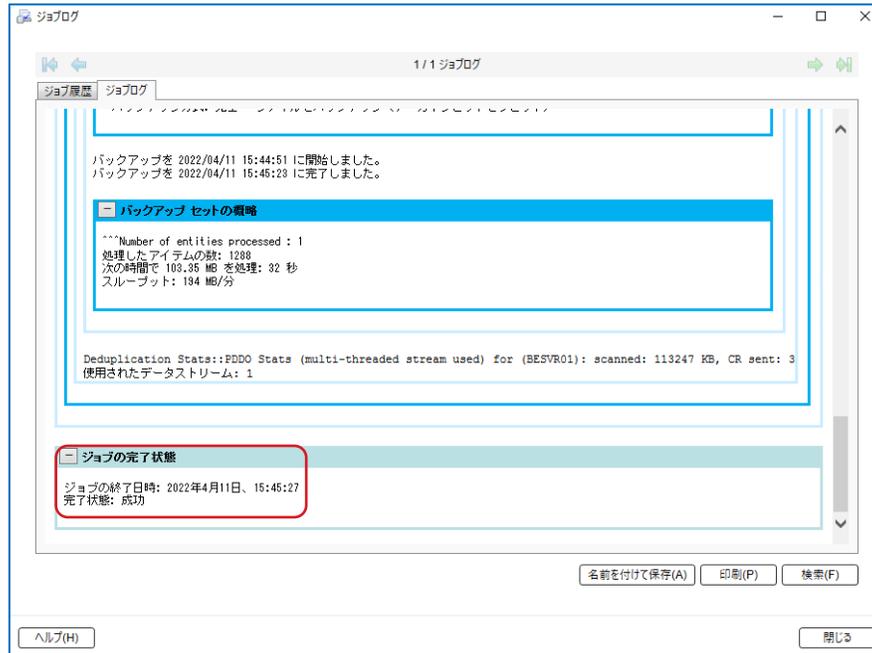
↓

ジョブ履歴 - 1 項目										
名前	サーバー	ストレージ	ジョブの種類	ジョブの状態	進捗率	開始時刻	終了時刻	経過時間	バイト数	スループット
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00003-永久増分	JVRTS1.onmi...	ローカル重複排除用ディスクストレージ:2	バックアップ	成功	100%	2022/04/11 15...	2022/04/11 15...	00:01:45	103 MB	193.00 MB/分

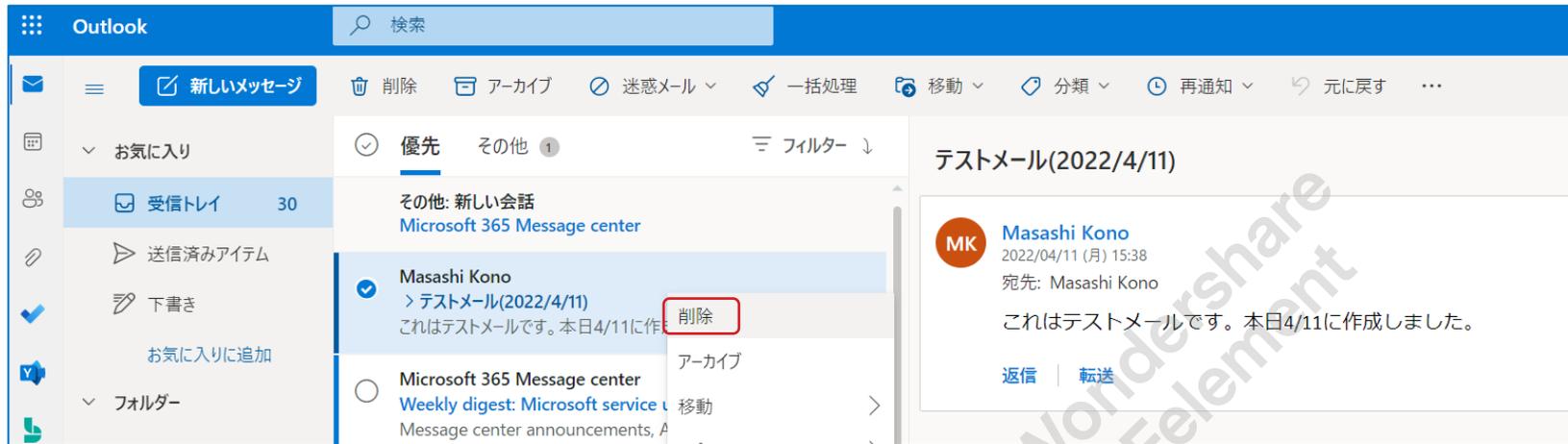
- 無事にバックアップが完了すると、このように表示されます。

M365バックアップの実行 (Exchange Online)

- ジョブログと重複排除ディスクストレージに格納されたバックアップセットの状態です。



M365バックアップの実行 (Exchange Online)



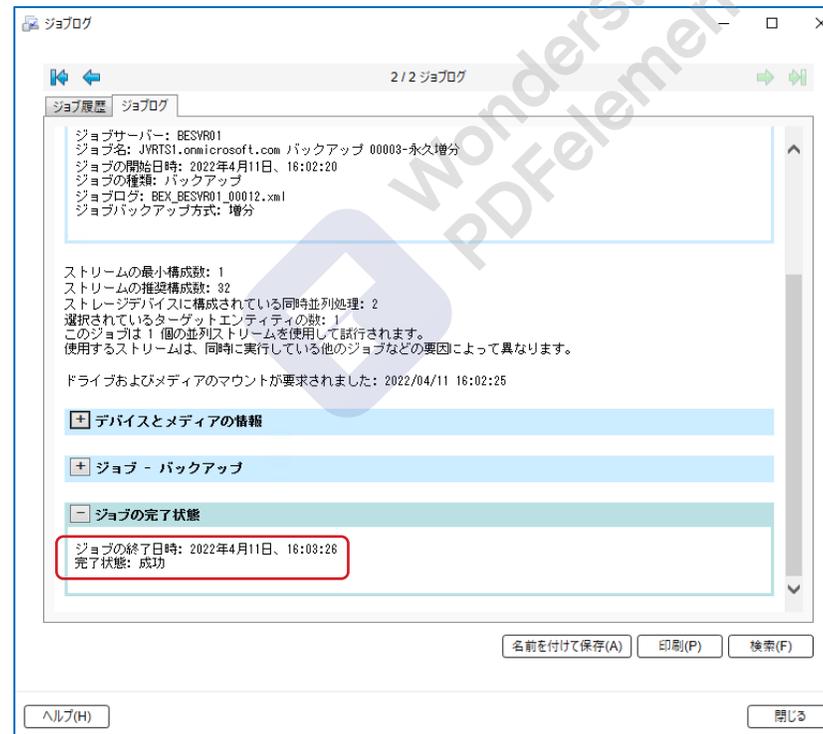
- 先ほどのテストメールを削除してみます。



- この状態でもう一度バックアップをとります。
- 今度は増分バックアップです。

M365バックアップの実行 (Exchange Online)

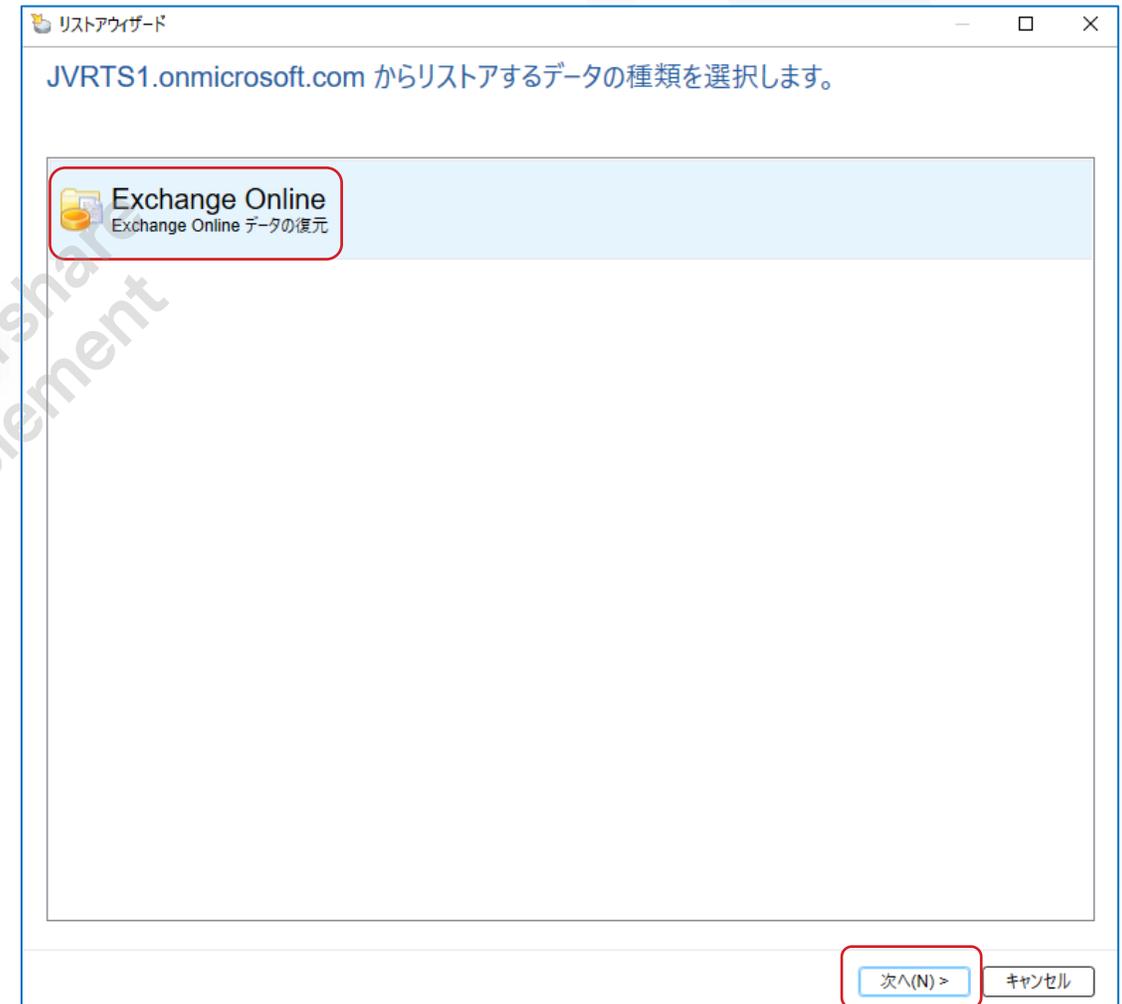
ジョブ履歴 - 2 項目										
名前	サーバー	ストレージ	ジョブの種類	ジョブの状態	進捗率	開始時刻	終了時刻	経過時間	バイト数	スループット
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00003-永久増分	JVRTS1.onmi...	ローカル重複排除用ディスクストレージ:2	バックアップ	成功	100%	2022/04/11 16...	2022/04/11 16...	00:01:06	44.3 KB	0.00 MB/分
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00003-永久増分	JVRTS1.onmi...	ローカル重複排除用ディスクストレージ:2	バックアップ	成功	100%	2022/04/11 15...	2022/04/11 15...	00:01:45	103 MB	193.00 MB/分



- 無事にバックアップが完了すると、このように表示されます。

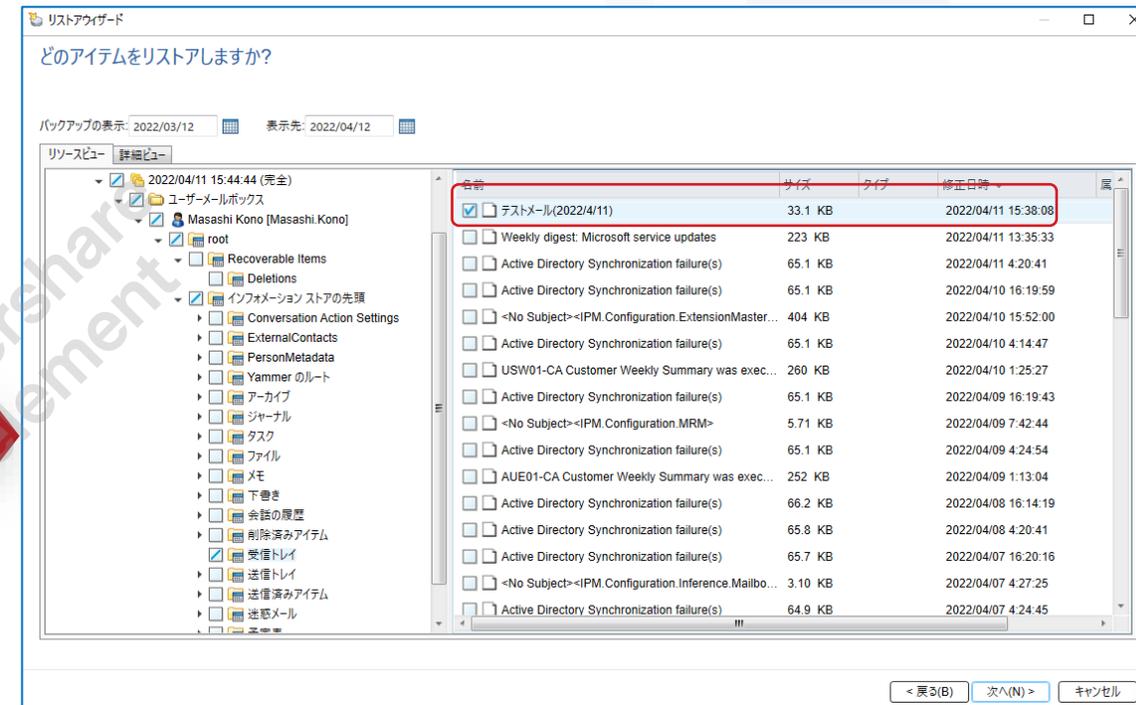
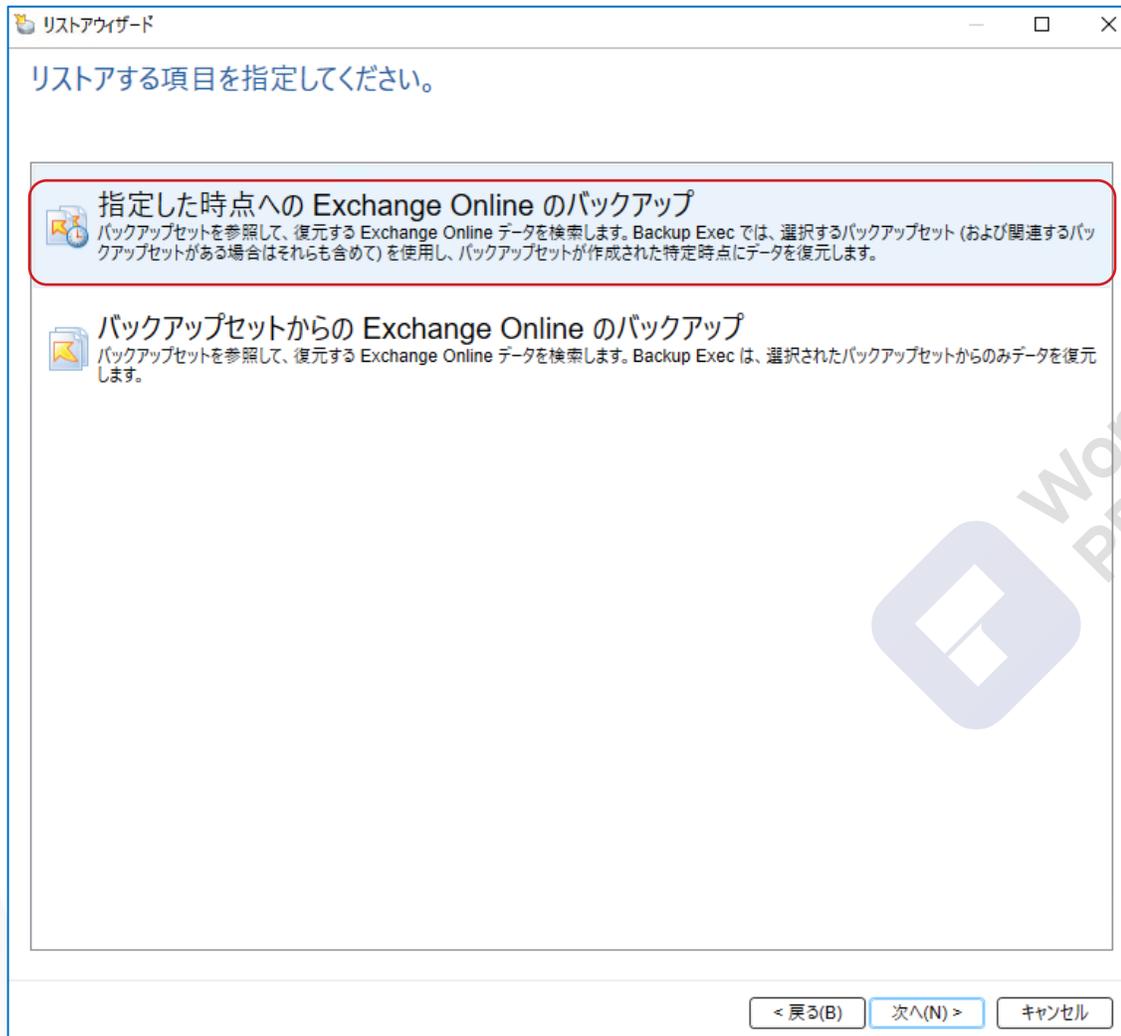
Veritas Backup Exec 22 Exchange Onlineのリストア

M365のリストア (Exchange Online)



- 先ほど削除したテストメールをリストアしてみます。

M365のリストア (Exchange Online)



- 最初のフルバックアップを取得した時点のバックアップを選びます。
- 「テストメール」を選択します。

M365のリストア (Exchange Online)

リストアウィザード

データのリストア先を指定してください。

上書きオプション 存在する場合はスキップ

リストアに使用する並列ストリームの推奨数(N):

リストアオプション

同じメールボックスへのリストア

カスタムパス (オプション)

Inbox/Destination

グループメールボックスはカスタムのサブフォルダへのリストアをサポートしません。

パブリックフォルダでは、リダイレクト先へのリストアはサポートされません。元の場所のみリストアできます。

異なるメールボックスへのリストア

宛先のメールボックスのアドレス

abc@test.com

宛先のメールボックスの種類 ユーザーメールボックス

カスタムパス (オプション)

Inbox/Destination

アイテムのリストアの権限

ソースと宛先のメールボックスの種類が異なる場合、グループメールボックスが宛先でない限り、宛先のカスタムパスが必要です。

どのリストアオプションを選択する必要がありますか?

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

リストアオプション

- 元のメールボックス、異なるメールボックスにリストアすることができます。

M365のリストア（Exchange Online）

リストアウィザード

リストアの前後に実行する追加タスクを指定してください。

リストアの前や後にコマンドを実行する(H)

リストア前に実行するコマンドを入力(O):

リストア後に実行するコマンドを入力(A):

コマンドが正常に完了したかどうかを判断するために、Backup Exec でコマンドの終了コードを確認する(L)

プリコマンドが正しく実行された場合にのみジョブを実行する(R)

プリコマンドが正しく実行された場合にのみポストコマンドを実行する(U)

ジョブが失敗した場合でもポストコマンドを実行する(V)

コマンドが完了しない場合にコマンドをキャンセルする時間 コマンド実行後(C) 分

コマンドを実行するコンピュータ:

この Backup Exec サーバー(T)

リストア先の各サーバー(E)

通知

ジョブの完了通知の受信者を選択してください。

受信者の名前	受信者の種類

電子メール通知にジョブログを含める(I)

追加タスク用に選択するオプションを指定してください。

リストアウィザード

使用するジョブ名とスケジュールを指定してください。

名前(A):

スケジュール:

今すぐ実行(W)

次の時点で実行(O):

スケジュールを設定せずに作成(I)

オプション

スケジュールキュー

予定開始時刻から次の期間移動されないジョブを再スケジュールする: 時間

予定開始時刻から次の期間経過しても実行しているジョブはキャンセルする(F): 時間

保留にする(U)

- リストア前後に実行するタスクや、スケジュール指定は従来と変わっていません。

M365のリストア (Exchange Online)

リストアウィザード

リストアの概略

リストアするデータ	
リストア:	指定した時点への Exchange Online 個のバックアップ
データの種類	
タイプ:	指定した時点への Exchange Online 個のバックアップ
選択リスト	
JVRTS1.ONMICROSOFT.COM Exchange Online 次を含む - ユーザーメールボックス Masashi Kono [Masashi.Kono]rootインフォメーション ストアの先頭受信トレイテストメール(2022/4/11)	
リストア先の場所	
上書きオプション	存在する場合はスキップ
リストアオプション	同じメールボックスへのリストア
カスタムパス	
追加タスク	
プリコマンドとポストコマンド:	プリコマンドまたはポストコマンドは未設定
通知:	ジョブ完了時に通知する受信者は未選択
ジョブ名とスケジュール	
名前:	JVRTS1.onmicrosoft.com リストア 00004
スケジュール:	今すぐに実行
保留にする:	いいえ

< 戻る(B) **完了(F)** キャンセル

- 最後に概略を確認して、問題がなければ「完了」をクリックします。

M365のリストア (Exchange Online)

ジョブのアクティビティ

ジョブのアクティビティ | ジョブ履歴

JVRTS1.onmicrosoft.com リストア 00004 ジョブのキャンセル(J)

ジョブ名: JVRTS1.onmicrosoft.com リストア 00004
ジョブの種類: リストア
ジョブログ: BEX_BESVR01_00013.xml
状態: 実行しています
現在の操作: リストア
サーバー名: SCF::\JVRTS1.onmicrosoft.com
ストレージ: ローカル重複排除用ディスクストレージ:2

ソース: ローカル重複排除用ディスクストレージ:2
宛先: SCF::\JVRTS1.onmicrosoft.com{404bc57f-d886-4004-a3ab-54b3dc434e76}\O365Family\O365Exchange
現在処理中のディレクトリ: Masashi Kono [Masashi.Kono]
現在処理中のファイル:

統計情報

ディレクトリ数: 1	スキップしたファイル数: 0
ファイル: 0	破損ファイル数: 0
処理したコンテナ: 1	使用中ファイル数: 0

進捗率:

スループット:
バイト: 0 バイト
開始時刻: 2022/04/11 16:29:53
経過時間: 00:00:23

総バイト数 (概算):
残り時間 (概算):

ヘルプ(H) 閉じる

ジョブログ

1 / 1 ジョブログ

ジョブ履歴 | ジョブログ

ジョブログ: JVRTS1.onmicrosoft.com リストア 00004

完了状態: 成功 グループを展開する グループを省略する

ジョブの情報

ジョブサーバー: BESVR01
ジョブ名: JVRTS1.onmicrosoft.com リストア 00004
ジョブの開始日時: 2022年4月11日、16:29:53
ジョブの種類: リストア
ジョブログ: BEX_BESVR01_00013.xml

ジョブ - リストア

ジョブの完了状態

ジョブの終了日時: 2022年4月11日、16:30:29
完了状態: 成功

名前を付けて保存(A) 印刷(P) 検索(F)

ヘルプ(H) 閉じる

- リストアが開始されて、完了するとこのように表示されます。

M365のリストア (Exchange Online)

The screenshot shows the Outlook web interface. The left sidebar contains navigation options like 'お気に入り' (Favorites), '受信トレイ' (Inbox) with 28 items, '送信済みアイテム' (Sent Items), '下書き' (Drafts), and 'フォルダー' (Folders). The main pane shows a list of emails in the Deleted Items folder. One email from Masashi Kono is highlighted with a red box. The email details pane on the right shows the content of the selected email.

Outlook

検索

新しいメッセージ

削除 アーカイブ 迷惑メール 一括処理 移動 分類 再通知 元に戻す

お気に入り

受信トレイ 28

送信済みアイテム

下書き

お気に入りに追加

優先 その他 1

フィルター

その他: 新しい会話
Microsoft 365 Message center

Masashi Kono
> テストメール(2022/4/11) 15:38
これはテストメールです。本日4/11に作成しました。

Microsoft 365 Message center
Weekly digest: Microsoft service updates 13:35
Message center announcements, April 4-10, 2022 ペリ...

テストメール(2022/4/11)

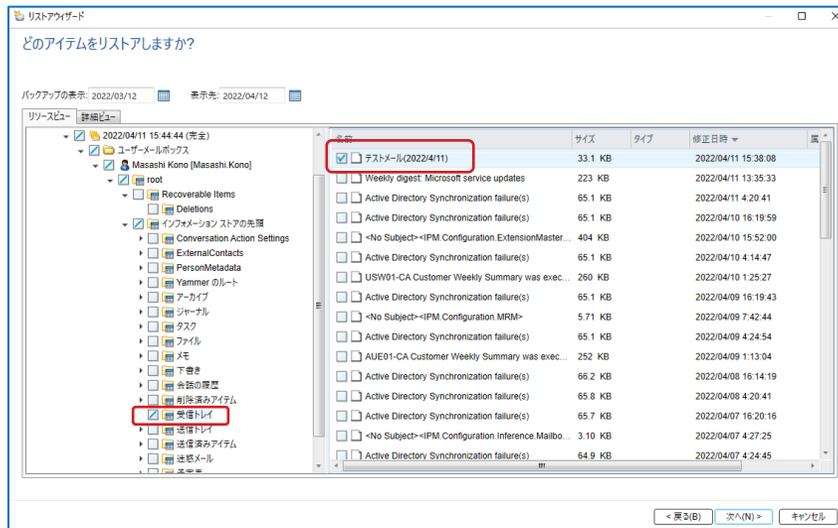
MK Masashi Kono
2022/04/11 (月) 15:38
宛先: Masashi Kono
これはテストメールです。本日4/11に作成しました。

返信 | 転送

- 削除したメールがリストアされていることが確認できます

増分バックアップからのリストア (Exchange Online)

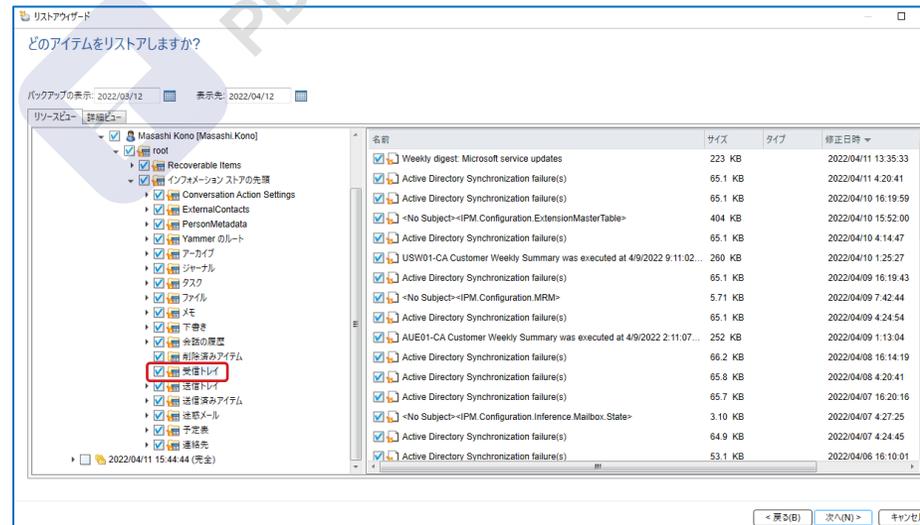
最初のフルバックアップ



- ちなみに「テストメール」を削除した後に実行した増分バックアップには、「テストメール」が含まれていないことが確認できます。



増分バックアップ



完全バックアップの統合 (Exchange Online)



- 完全統合を行うと過去に取得した完全バックアップと増分バックアップを使って、block cloning (ポインター情報のコピー) で高速に新たなフルバックアップを作成します。

ジョブ履歴 - 3 項目

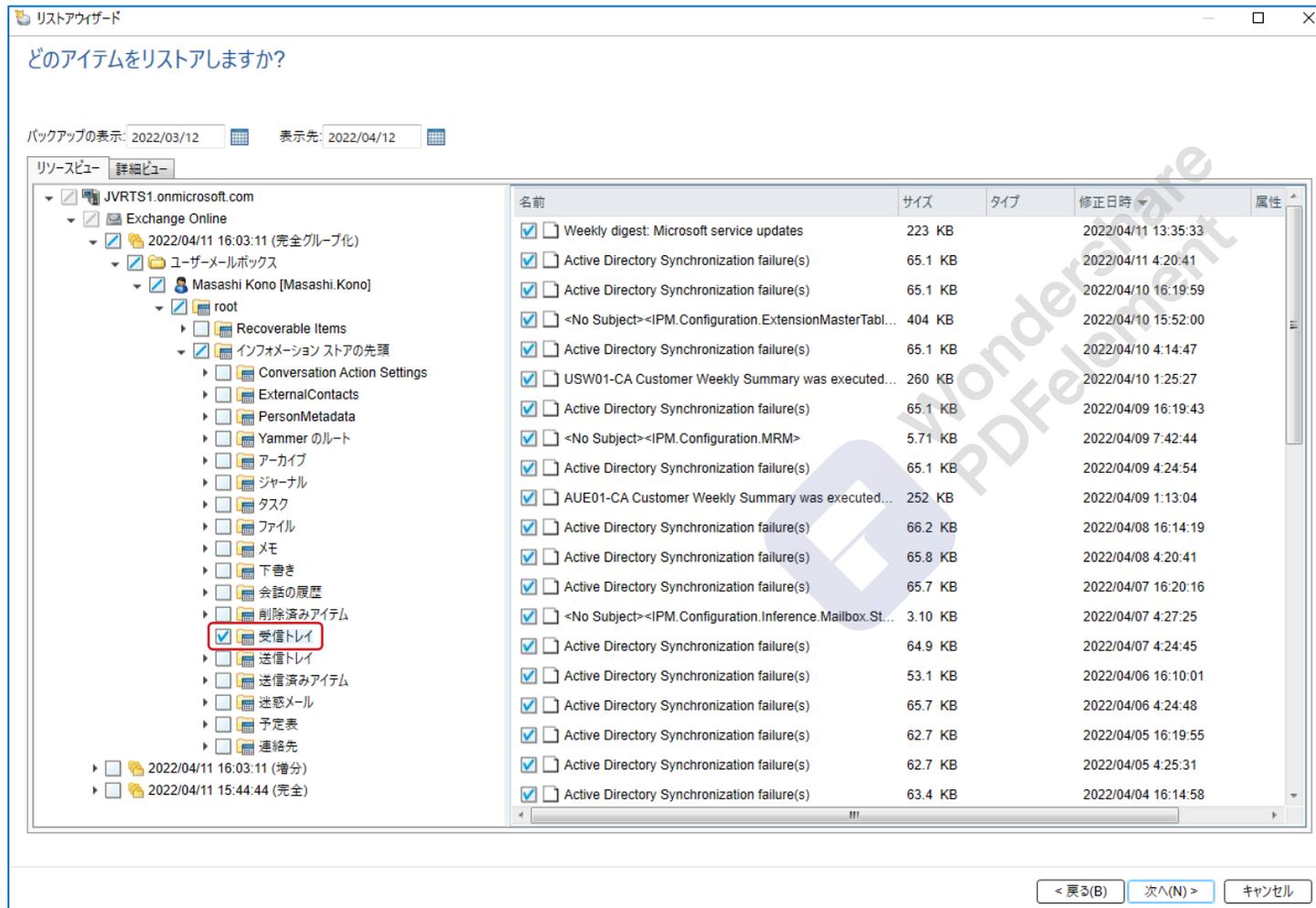
名前	サーバー	ストレージ	ジョブの種類	ジョブの状態	進捗率	開始時刻	終了時刻	経過時間	バイト数	スループット
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00002-完全統合	JVRTS1.onmicrosoft.com	重複排除用ディスクストレージ2	バックアップ	成功	100%	2022/06/22 16:05:24	2022/06/22 16:08:55	00:03:31	2.10 GB	2,689.03 MB/分

← すべてのストレージ

重複排除用ディスクストレージ 詳細

ジョブ	サーバー	リソース	バックアップ時刻	バックアップ方式	ストレージ	有効期限	サイズ	保持	保持理由
ジョブ	JVRTS1.ONMICROSOFT.COM	O365Exchange	2022/06/22 16:02:22	完全	重複排除用ディスクストレージ	2022/07/06 16:07:44	1.82 GB	システム定義	完全ジョブの統合用に保持
ジョブ履歴	JVRTS1.ONMICROSOFT.COM	O365Exchange	2022/06/22 16:02:22	増分	重複排除用ディスクストレージ	2022/06/29 16:03:37			
バックアップセット	JVRTS1.ONMICROSOFT.COM	O365Exchange	2022/06/22 15:20:45	完全	重複排除用ディスクストレージ	2022/06/29 15:39:00	1.82 GB		

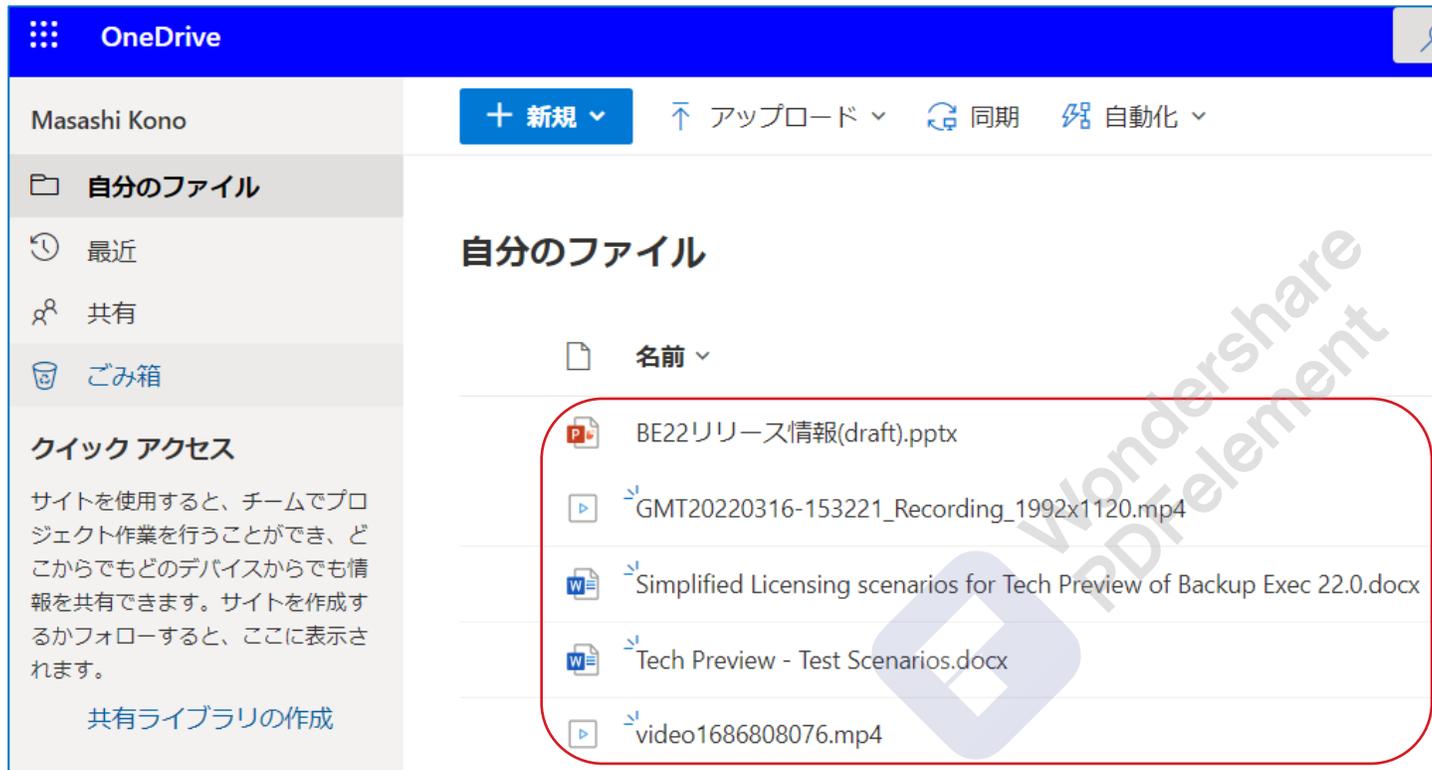
完全統合バックアップからのリストア (Exchange Online)



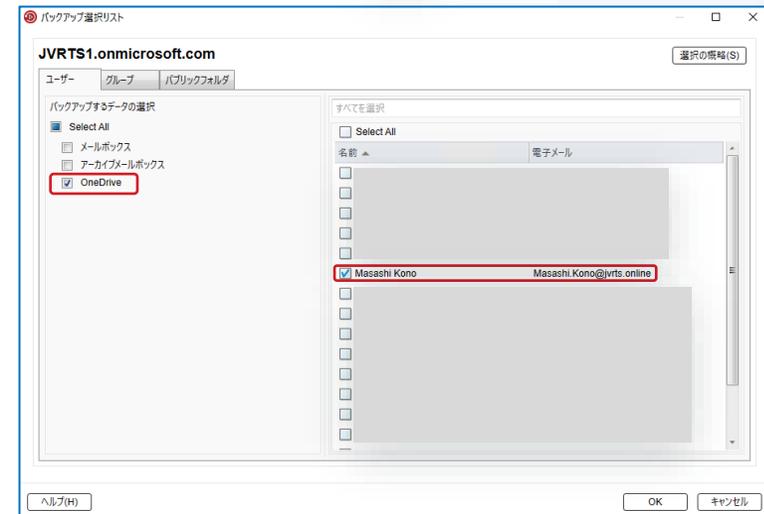
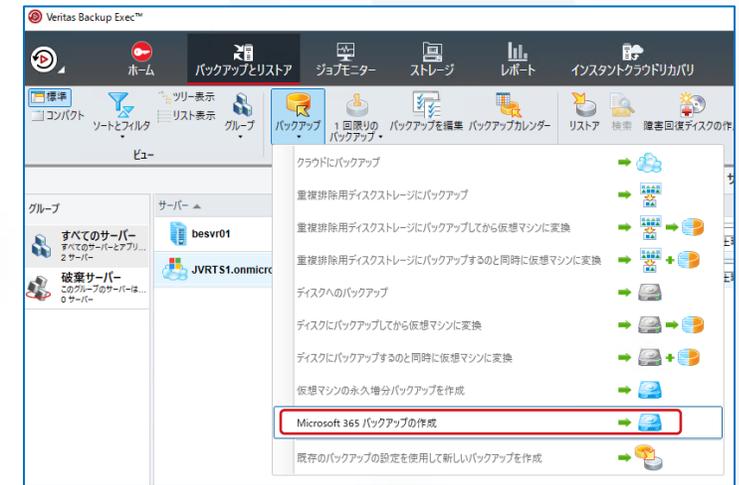
- 完全統合したフルにも「テストメール」が削除されていることが確認できます（増分の段階で削除したため）。

Veritas Backup Exec 22 OneDriveのバックアップ

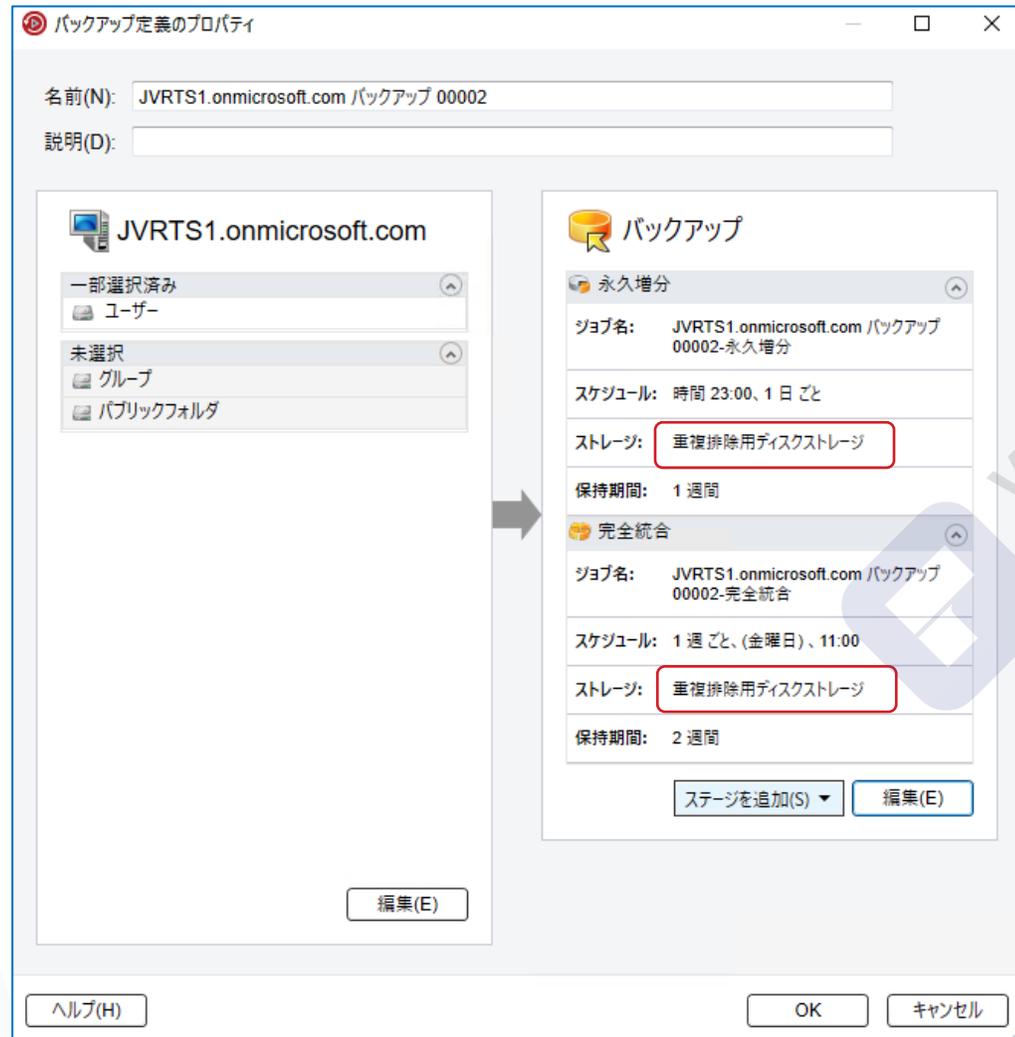
OneDriveのバックアップ



- OneDriveのバックアップの例をご紹介します。

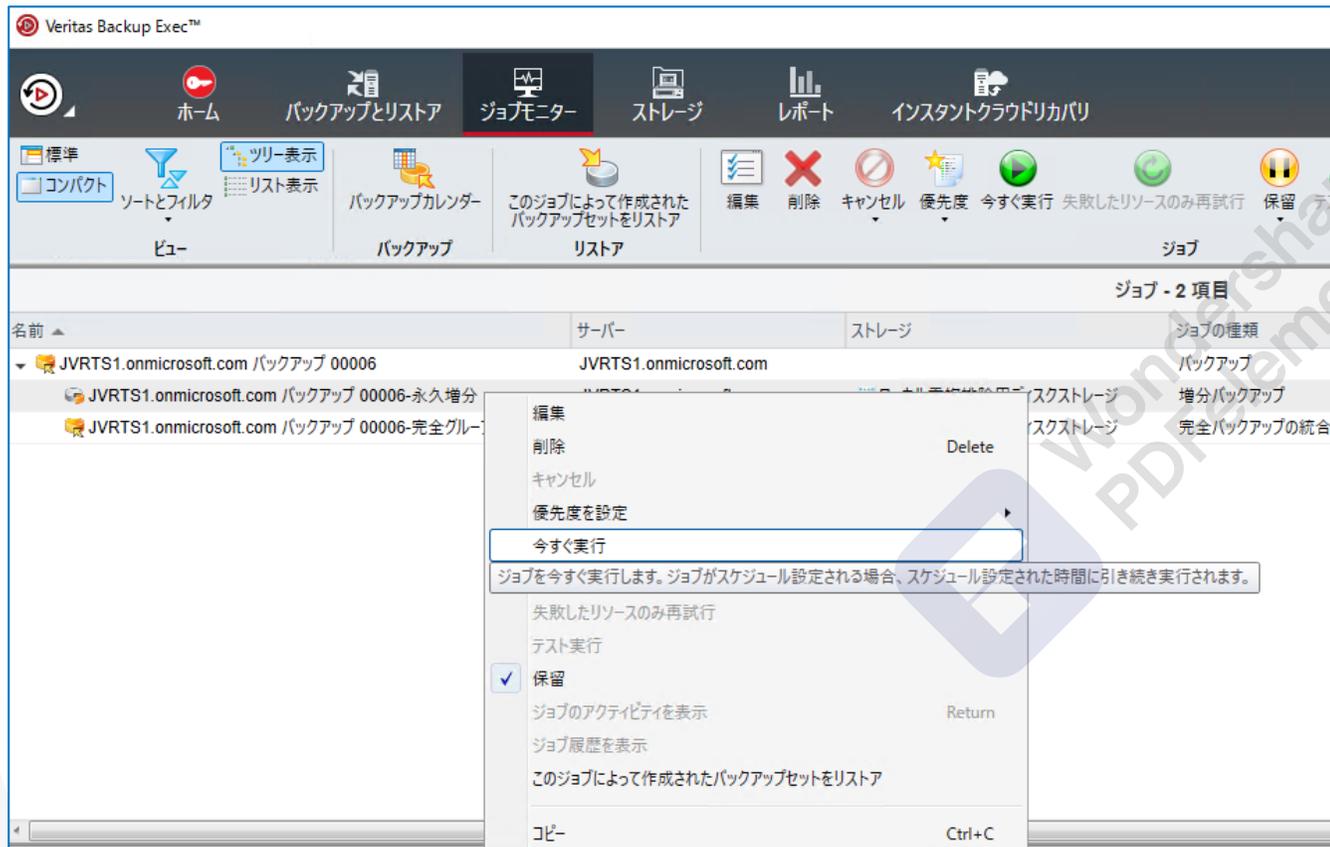


OneDriveのバックアップ



- OneDriveのバックアップの保存先に、先ほど作成した重複排除ディスクストレージを設定しておきます。

OneDriveのバックアップ



- ジョブが作成されます。直ちに実行してみます。

OneDriveのバックアップ

ジョブ履歴 - 6 項目

名前	サーバー	ストレージ	ジョブの種類	ジョブの状態	進捗率	開始時刻	終了時刻	経過時間	バイト数	スループット
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00006-永久増分	JVRTS1.onmi...	ローカル重複排除用ディスクストレージ:1	バックアップ	成功	100%	2022/04/12 13:07:54	2022/04/12 13:09:35	00:01:41	207 MB	388.00 MB/分



← すべてのストレージ

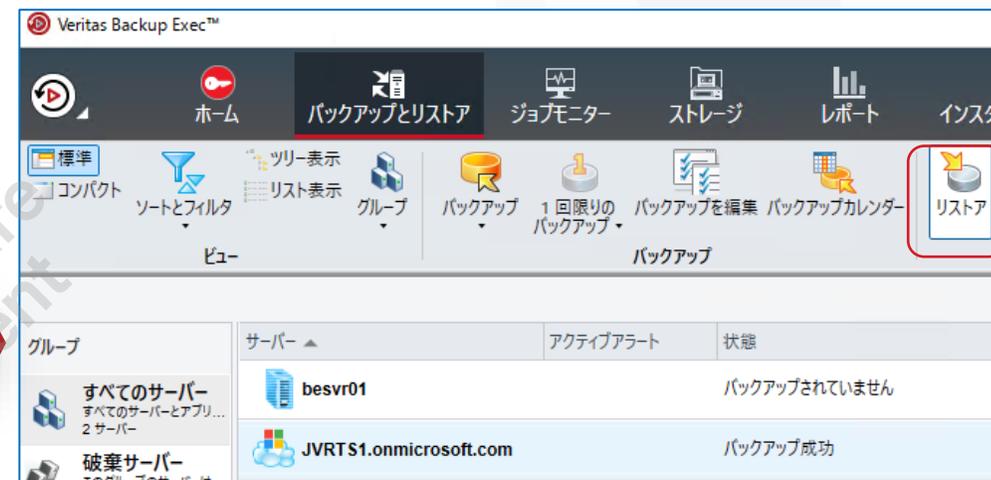
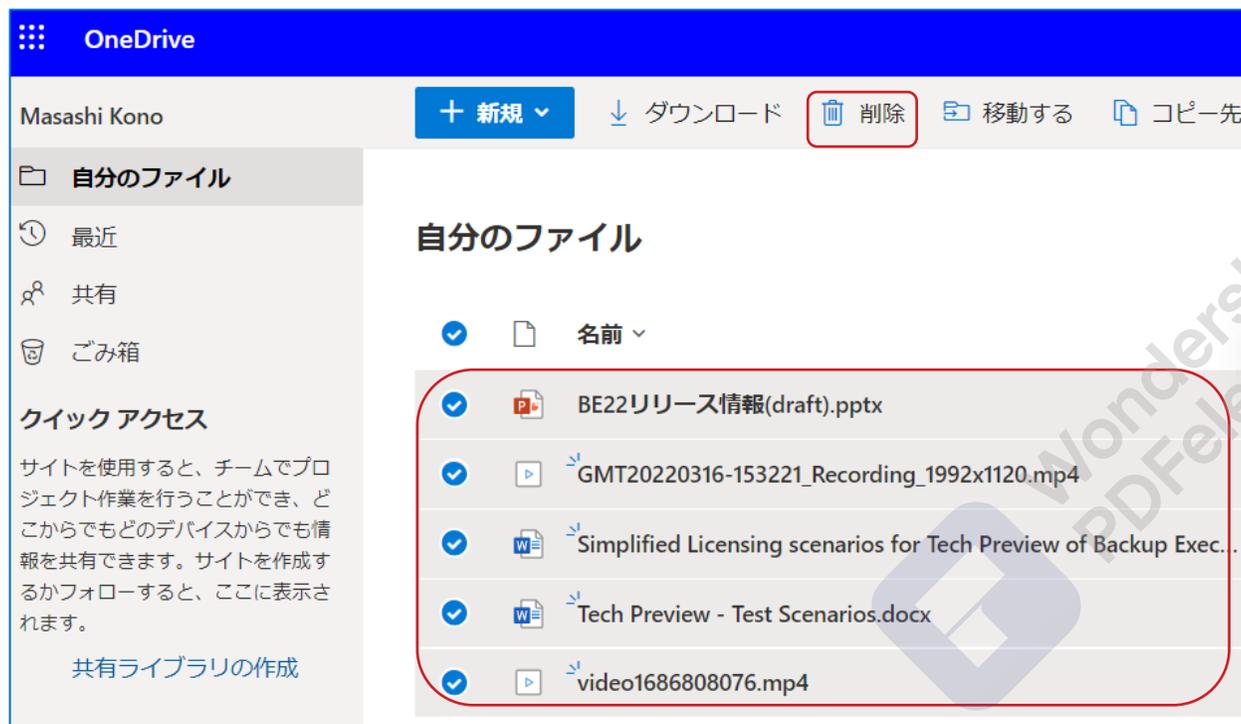
ローカル重複排除用ディスクストレージ 詳細

ジョブ	サーバー	リソース	バックアップ時刻	バックアップ方式	ストレージ	有効期限	サイズ	保持	保持理由
	JVRTS1.ONMICROSOFT.COM	O365OneDrive	2022/04/12 13:08:53	完全	重複排除用ディスクストレージ	2022/04/19 13:09:32	207 MB	システム定義	完全ジョブの統合用に保持
ジョブ履歴	JVRTS1.ONMICROSOFT.COM	O365Exchange	2022/04/11 16:03:11	完全	重複排除用ディスクストレージ	2022/04/25 17:02:55	84.6 MB	システム定義	完全ジョブの統合用に保持
バックアップセット	JVRTS1.ONMICROSOFT.COM	O365Exchange	2022/04/11 16:03:11	増分	重複排除用ディスクストレージ	2022/04/18 16:03:23	33.1 KB		
	JVRTS1.ONMICROSOFT.COM	O365Exchange	2022/04/11 15:44:44	完全	重複排除用ディスクストレージ	2022/04/18 15:45:23	84.6 MB		

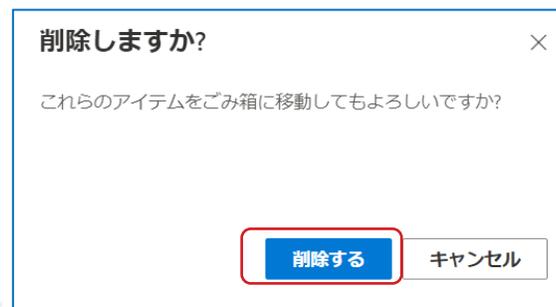
- バックアップが完了するとこのように表示されます。

Veritas Backup Exec 22 OneDriveのリストア

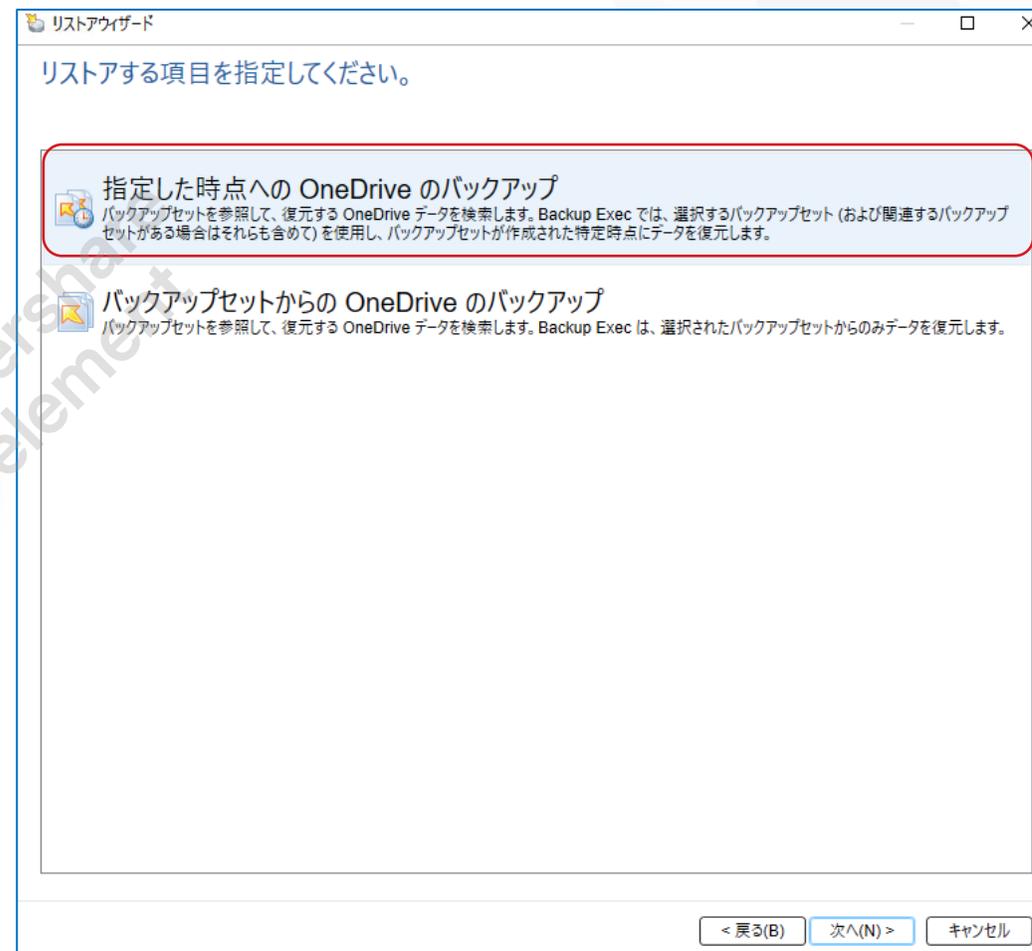
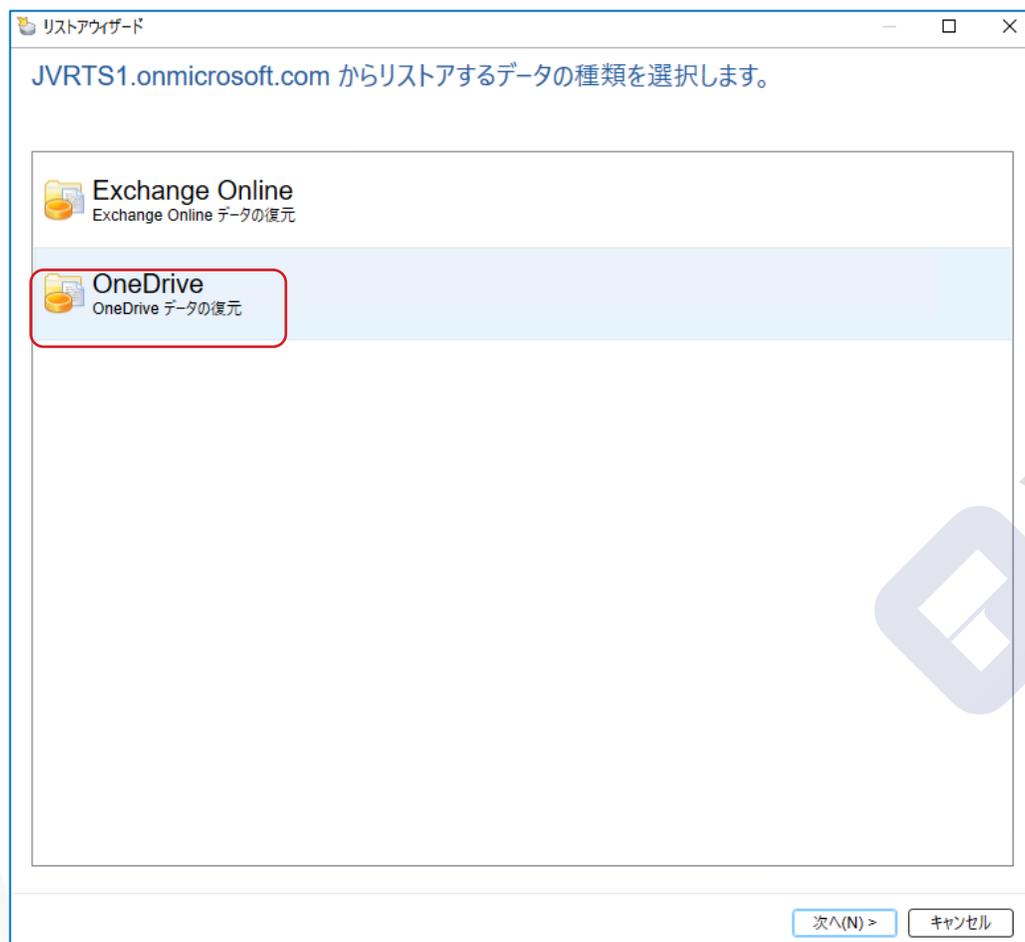
OneDriveのリストア



- リストアを行いますので、その前にOneDrive上のファイルを削除します。

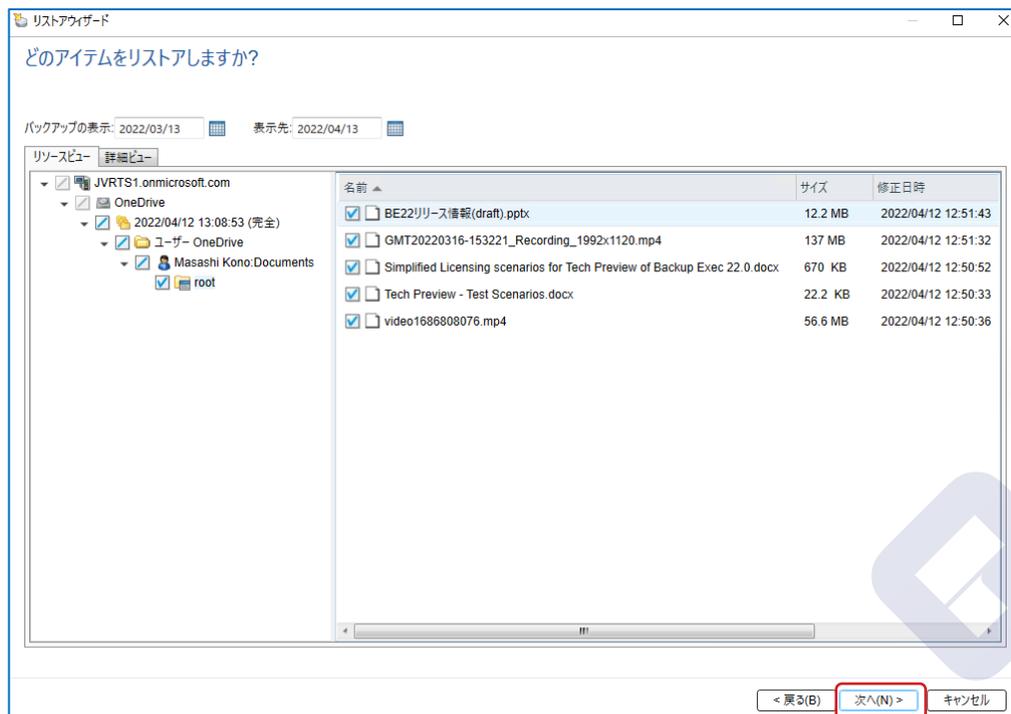


OneDriveのリストア



※バックアップを1回でも行わないと、ここの一覧にアプリケーションが表示されません。

OneDriveのリストア



- バックアップセットを選んで、リストアしたいファイルを選択します。今回は、先ほど削除したファイルを選択します。

OneDriveのリストア

リストアウィザード

リストアの前後に実行する追加タスクを指定してください。

リストアの前や後にコマンドを実行する(H)

リストア前に実行するコマンドを入力(O):

リストア後に実行するコマンドを入力(A):

コマンドが正常に完了したかどうかを判断するために、Backup Exec でコマンドの終了コードを確認する(L)

アプリコマンドが正しく実行された場合にのみジョブを実行する(R)

アプリコマンドが正しく実行された場合にのみポストコマンドを実行する(U)

ジョブが失敗した場合でもポストコマンドを実行する(V)

コマンドが完了しない場合にコマンドをキャンセルする時間 コマンド実行後(C) 分

コマンドを実行するコンピューター:

この Backup Exec サーバー(T)

リストア先の各サーバー(E)

通知

ジョブの完了通知の受信者を選択してください。

受信者の名前	受信者の種類

電子メール通知にジョブログを含める(I)

追加タスク用に選択するオプションを指定してください。

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル



リストアウィザード

使用するジョブ名とスケジュールを指定してください。

名前(A):

スケジュール:

今すぐ実行(W)

次の時点で実行(O):

スケジュールを設定せずに作成(I)

オプション

スケジュールキュー

予定開始時刻から次の期間起動されないジョブを再スケジュールする: 時間

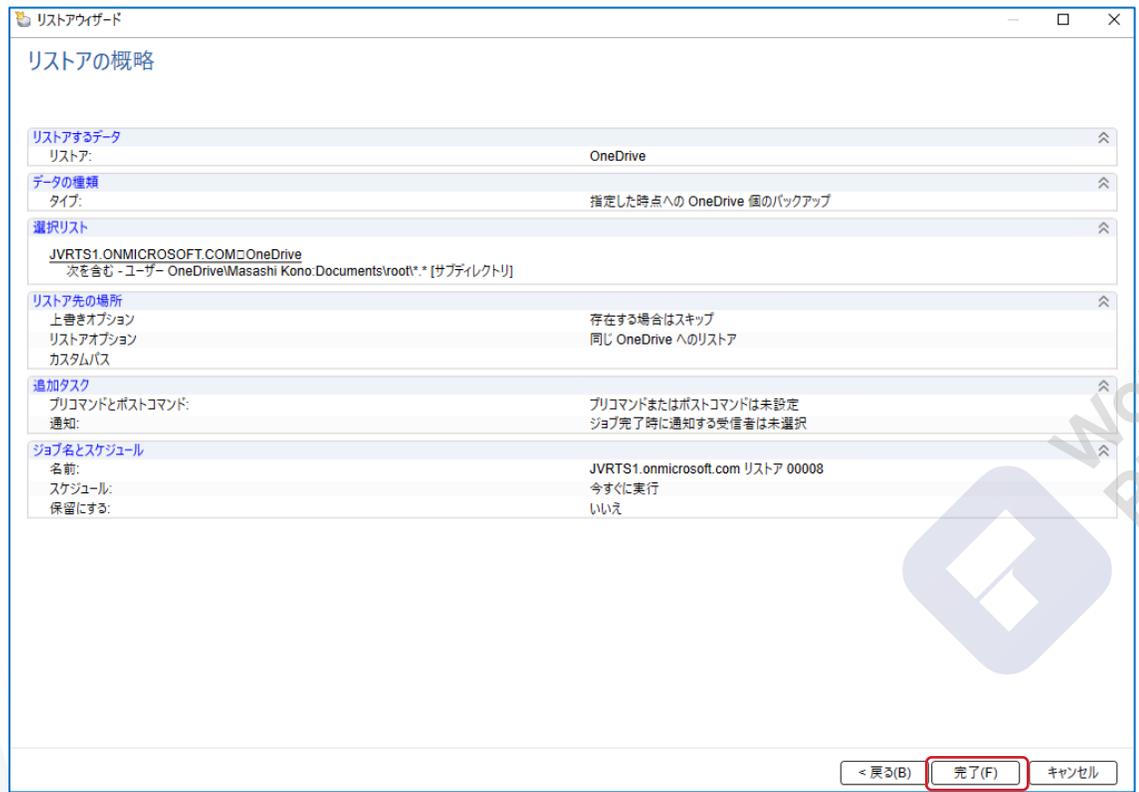
予定開始時刻から次の期間経過しても実行しているジョブはキャンセルする(F): 時間

保留にする(U)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

- ここからは、従来通りの設定画面です。

OneDriveのリストア



- 最後に概略を確認して、「完了」をクリックすると、リストアが開始します。



OneDriveのリストア

ジョブ履歴 - 7 項目										
名前	サーバー	ストレージ	ジョブの種類	ジョブの状態	進捗率	開始時刻	終了時刻	経過時間	バイト数	スループット
JVRTS1.onmicrosoft.com リストア 00009	JVRTS1.onmi...	ローカル重複排除用ディスクストレージ:1	リストア	成功	100%	2022/04/12 14:10:46	2022/04/12 14:11:38	00:00:52	207 MB	388.00 MB/分

ジョブログ

1 / 1 ジョブログ

ジョブ履歴 ジョブログ

ジョブの情報

ジョブサーバー: BESVR01
 ジョブ名: JVRTS1.onmicrosoft.com リストア 00009
 ジョブの開始日時: 2022年4月12日、14:10:46
 ジョブの種類: リストア
 ジョブログ: BEX_BESVR01_00018.xml

ジョブ - リストア

サーバー - BESVR01

セットの情報 - SCF::¥¥JVRTS1.onmicrosoft.com{404bc57f-d886-4004-a3ab-54b3dc434e76}¥0365Family¥0365OneDrive

ジョブの完了状態

ジョブの終了日時: 2022年4月12日、14:11:38
 完了状態: 成功

名前を付けて保存(A) 印刷(P) 検索(F)

ヘルプ(H) 閉じる

OneDrive

Masashi Kono

自分のファイル

最近 共有 ごみ箱

クイック アクセス

サイトを 사용하면、チームでプロジェクト作業を行うことができ、どこからでもどのデバイスからでも情報を共有できます。サイトを作成するかフォローすると、ここに表示されます。

共有ライブラリの作成

自分のファイル

名前	更新日時
BE22リリース情報(draft).pptx	約 1 時間前
GMT20220316-153221_Recording_1992x11...	約 1 時間前
Simplified Licensing scenarios for Tech Prev...	約 1 時間前
Tech Preview - Test Scenarios.docx	約 1 時間前
video1686808076.mp4	約 1 時間前

- リストアが完了すると、このように表示されて、先ほど削除したファイルがOneDriveにリストアされていることが確認できます。

Veritas Backup Exec 22 まとめ



Veritas Backup Exec 22 最新情報 まとめ



Microsoft 365の保護

Microsoft 365のExchangeとOneDriveのデータ保護がBackup Execに完全に統合されました!



SharePointと
Teamsは、
次期リリースで
対応予定



シンプルライセンス

- M365の保護だけでなく、すべての製品機能が最初から利用可能となっています。面倒なオプションの選択や選択漏れの心配はありません。
- すべての管理を一か所から、一つのコンソールできます。今まで慣れ親しんだ操作性を損なう心配はありません。まさにオールインワンのライセンスです！

これからの提案に是非、Backup Exec 22とシンプルライセンスをご検討ください！

VERITAS™

ありがとうございました!

Veritas Backup Exec 22 補足情報



Backup Execの各種情報

試用版の入手、サポート情報、管理者ガイドなど

サイト名	URL
無償試用版ダウンロード	https://www.veritas.com/ja/jp/form/trialware/backup-exec
Veritas Solution Channel (VSC) NEW! - 日本のお客様向け情報提供サイト (製品・ソリューション情報、イベント・セミナーのご案内等)	https://www.veritas-solution.com/  <p>※従来の日本語情報サイト(Veritas for Everyone – https://www.veritas-every1.com/) は、3月31日をもって終了いたしました。</p>
サポートサイトのページ	https://www.veritas.com/content/support/ja_JP/
サポートマトリックス (英語版のみ)	https://www.veritas.com/content/support/en_US/article.100040087
管理者ガイド(日本語)	https://www.veritas.com/content/support/ja_JP/doc/63385057-153338416-0/v102000597-153338416
Readme(日本語)	https://www.veritas.com/content/support/ja_JP/doc/68021655-153340122-0/v122269534-153340122

Veritas Backup Exec 22 Backup Exec業界からの評価

Cybersecurity Excellenceアワードを受賞しました。

Cybersecurity Excellenceアワードは、情報セキュリティの分野で卓越性、革新性、リーダーシップを発揮した個人、ソリューション、企業を毎年表彰しています。



Veritas Backup Exec は、5つのカテゴリーで受賞しました。



事業継続とディザスタリカバリ
金賞受賞



クラウドワークロードの保護
銀賞受賞



ランサムウェアからの保護
銀賞受賞



ランサムウェアからの回復
金賞受賞



ストレージとアーカイブ
金賞受賞

「Cybersecurity ExcellenceアワードをBackup Execで受賞できたことを光栄に思います」

「ベリタスでは、業界で最もランサムウェアに強いデータ保護ソリューションを構築するために努力しています。私たちは、シンプルで安全、かつ統一されたソリューションを開発し続けています」

Simon Jelley,
Backup Execゼネラルマネージャー兼バイスプレジデント

Veritas Backup Exec 22

Backup Exec リニューアル（ライセンス更新）のメリット



今すぐメンテナンスまたはサブスクリプションを更新しましょう

アクティブな保守契約またはサブスクリプションは、Veritas Backup Exec への投資を最大化します。ソリューションを強化する継続的な製品アップグレードへのアクセスや、ダウンタイムを最小限に抑えるテクニカルサポートによる迅速な対応を保證します。



ランサムウェアへの耐性を実現

Backup Exec はバックアップデータをロックダウンし、身代金を支払うことなくビジネスを継続することを可能にします。更新料金のために重要なビジネスデータを失うことのないようにしましょう。



Microsoft 365の保護

Backup Execは、ExchangeやOneDriveを含む重要なMicrosoft 365リソースの保護とリカバリを提供するようになりました。Microsoft 365の保護機能は、Backup Exec 22 に完全に統合されています。



好みのクラウドの選択

Backup Execを使用すれば、バックアップをオフサイトから直接クラウドに送信し、クラウド内のネイティブなワークロードを保護し、クラウドをディザスタリカバリサイトとして使用することが可能です。クラウドへの移行は、Backup Execにお任せください。



業界のリーディングカンパニーと提携

ベリタスは、2021年ガートナーマジック・クアドラント・レポートのエンタープライズバックアップおよびリカバリソフトウェアソリューション部門で16回目の「リーダー」に選出されたことを誇りに思います。